

第6回川崎市地域福祉実態調査（令和4年度調査）
結果概要

宮前区版

目次

調査の概要	- 1 -
■ 調査の目的	- 1 -
■ 調査の設計	- 1 -
■ 概要を利用するにあたって	- 1 -
1. 回答者の基本属性	- 3 -
2. 『川崎市地域福祉計画』について	- 9 -
3. 居住地域について	- 10 -
4. 地域活動やボランティア活動について	- 23 -
5. 保健・福祉に関することについて	- 28 -
6. 防災に対する意識と備えについて	- 31 -
7. 今後の地域福祉の推進について	- 36 -
8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます	- 41 -
資料_アンケート調査票	- 65 -

調査の概要

■ 調査の目的

本調査は、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第7期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

■ 調査の設計

【調査対象者】

市内在住の18歳以上の男女（外国人を含む）各区1,000人、全市7,000人

【調査時期】

令和4年11月～令和4年12月

【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

【調査内容】

- ・基本属性
- ・『川崎市地域福祉計画』について
- ・居住地域について
- ・地域活動やボランティア活動について
- ・保健・福祉に関することについて
- ・防災に対する意識と備えについて
- ・今後の地域福祉の推進について

■ 概要を利用するにあたって

- (1) 図中のnとは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。

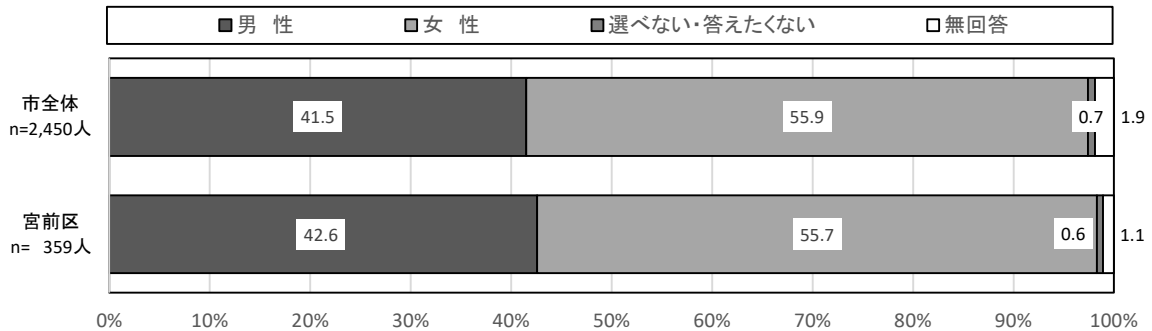
【回収率】

区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	7,000
有効回収数（人）	303	363	346	341	359	332	371	35	2,450
有効回収率	30.3%	36.3%	34.6%	34.1%	35.9%	33.2%	37.1%	-	35.0%
（参考） 第5回回収率	30.9%	33.9%	35.0%	32.6%	35.9%	35.0%	40.9%	-	35.3%

1. 回答者の基本属性

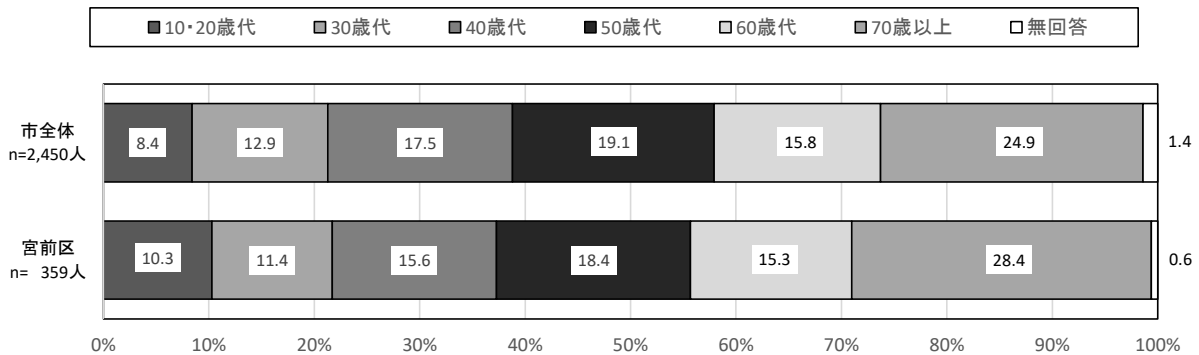
問1 性別を教えてください。(〇は1つだけ)

宮前区では、男性が42.6%、女性が55.7%となっている。



問2 現在の年齢は満何歳ですか。(〇は1つだけ)

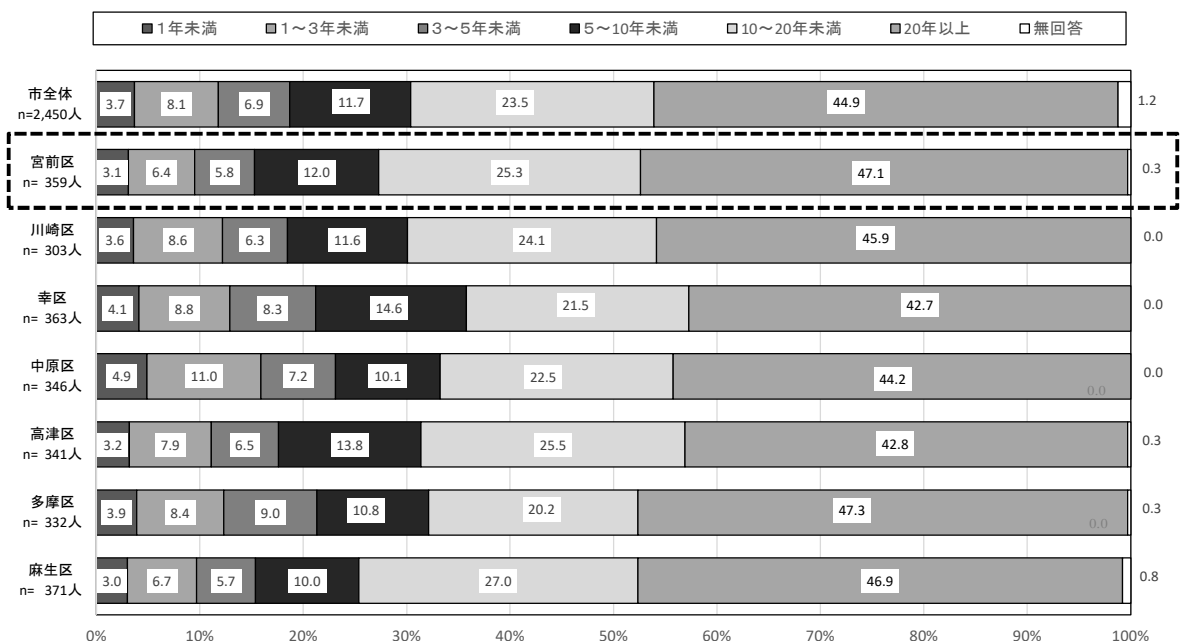
宮前区では、70歳以上が28.4%で最も高く、次いで50歳代(18.4%)、40歳代(15.6%)となっている。



※問3・問4については、地区を記載する設問のため、地区版では省略します。

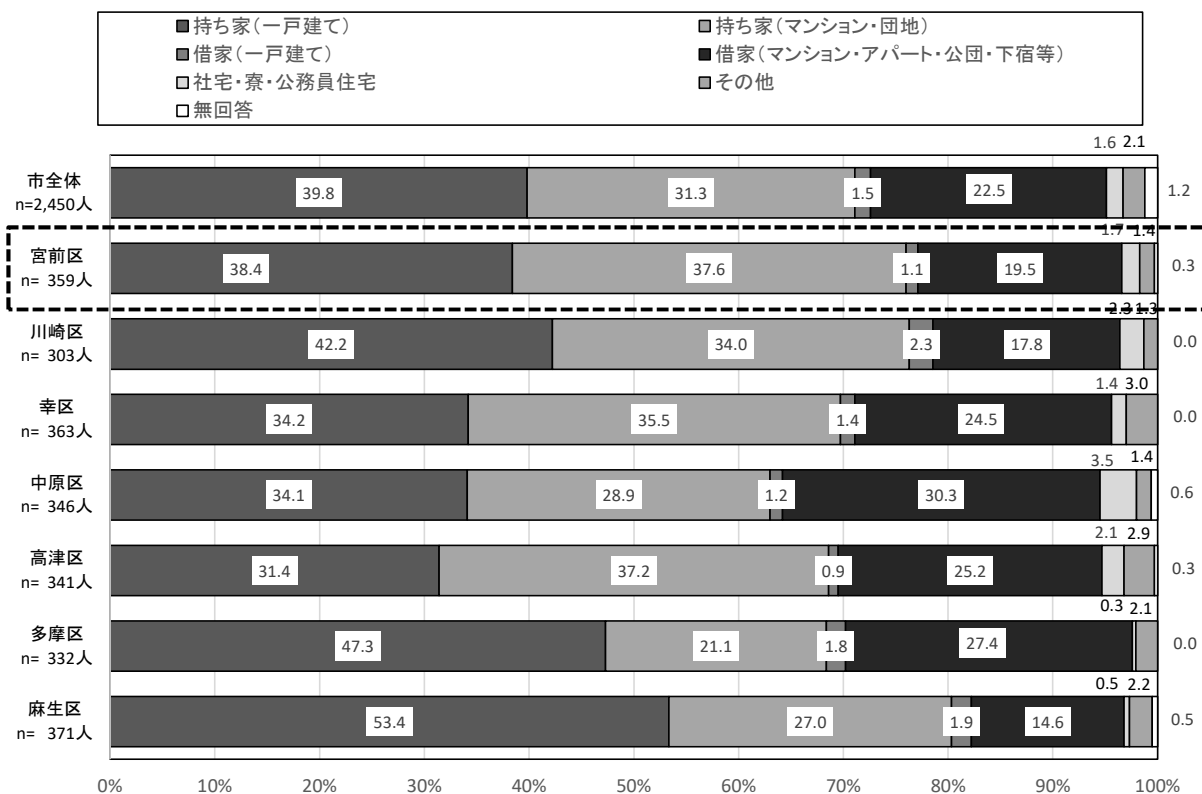
問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(〇は1つだけ)

宮前区では、20年以上が47.1%で最も高く、次いで10~20年未満(25.3%)、5~10年未満(12.0%)となっている。市内6区と比較すると、10年以上の割合(10~20年未満と20年以上を合わせた割合)が72.4%で2番目に高くなっている。



問6 現在お住まいの形態を教えてください。(○は1つだけ)

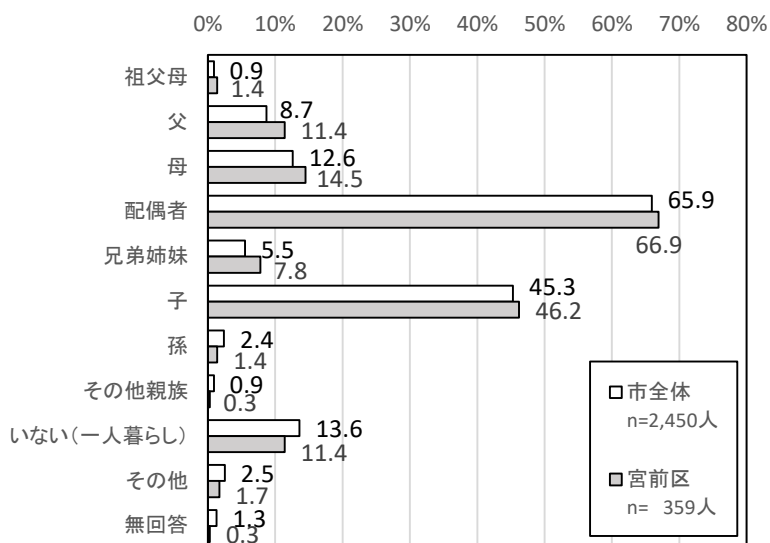
宮前区では、持ち家(マンション・団地)の割合が37.6%で、市全体(31.3%)を6.3ポイント上回っている。市内6区と比較すると、持ち家(一戸建て)と持ち家(マンション・団地)を合わせた持ち家の割合が76.0%で3番目に高く、特に持ち家(マンション・団地)の割合は7区の中で最も高くなっている。



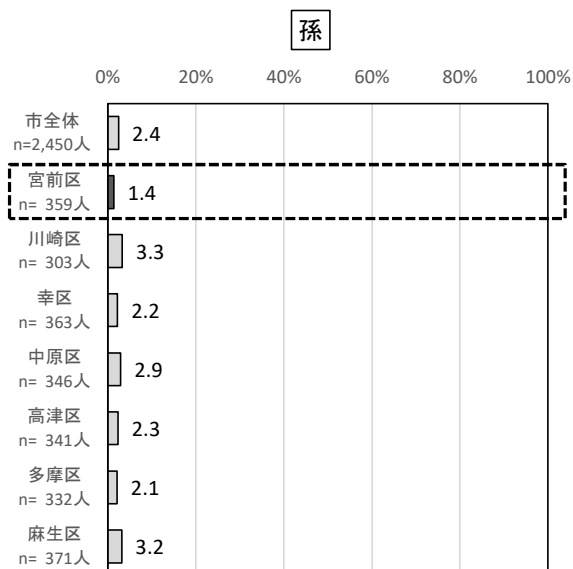
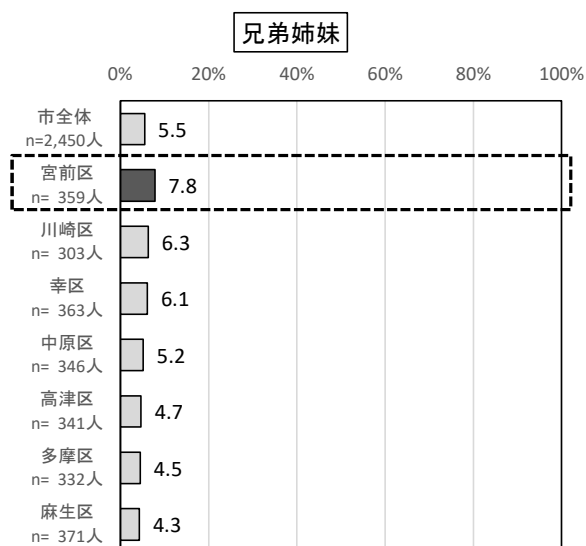
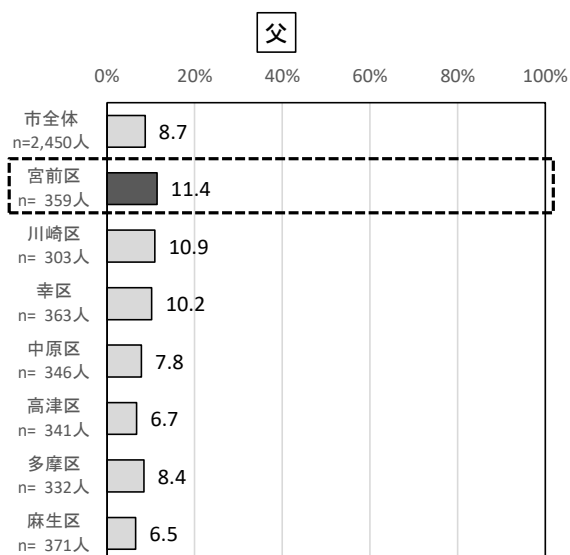
問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

宮前区では、「配偶者」が66.9%で市全体(65.9%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「父」と「兄弟姉妹」は7区で最も高く、「孫」は1.4%で、最も低くなっている。

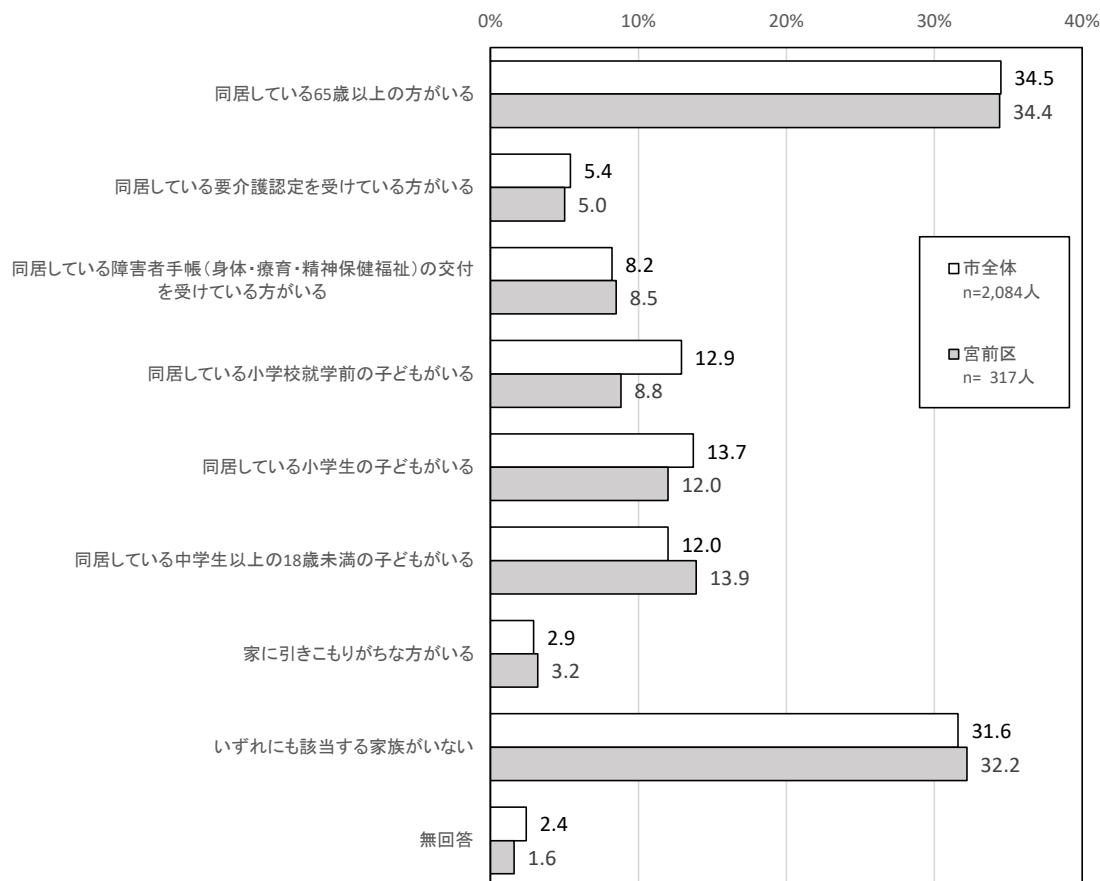


【参考】

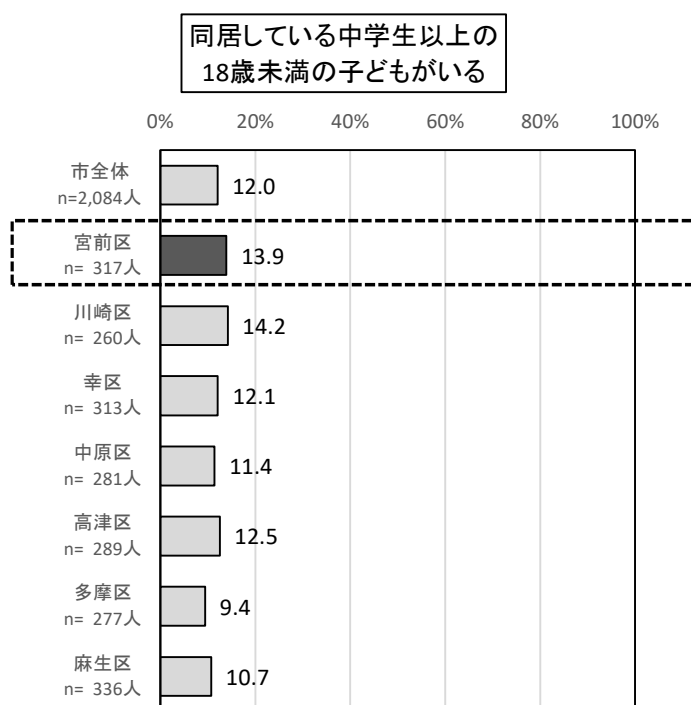


問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

宮前区では、「同居している65歳以上の方がいる」が34.4%で最も高く、次いで「いずれにも該当する家族がない」（32.2%）となっている。市内6区と比較すると、「同居している中学生以上の18歳未満の子どもがいる」割合は13.9%で2番目に高くなっている。



【参考】

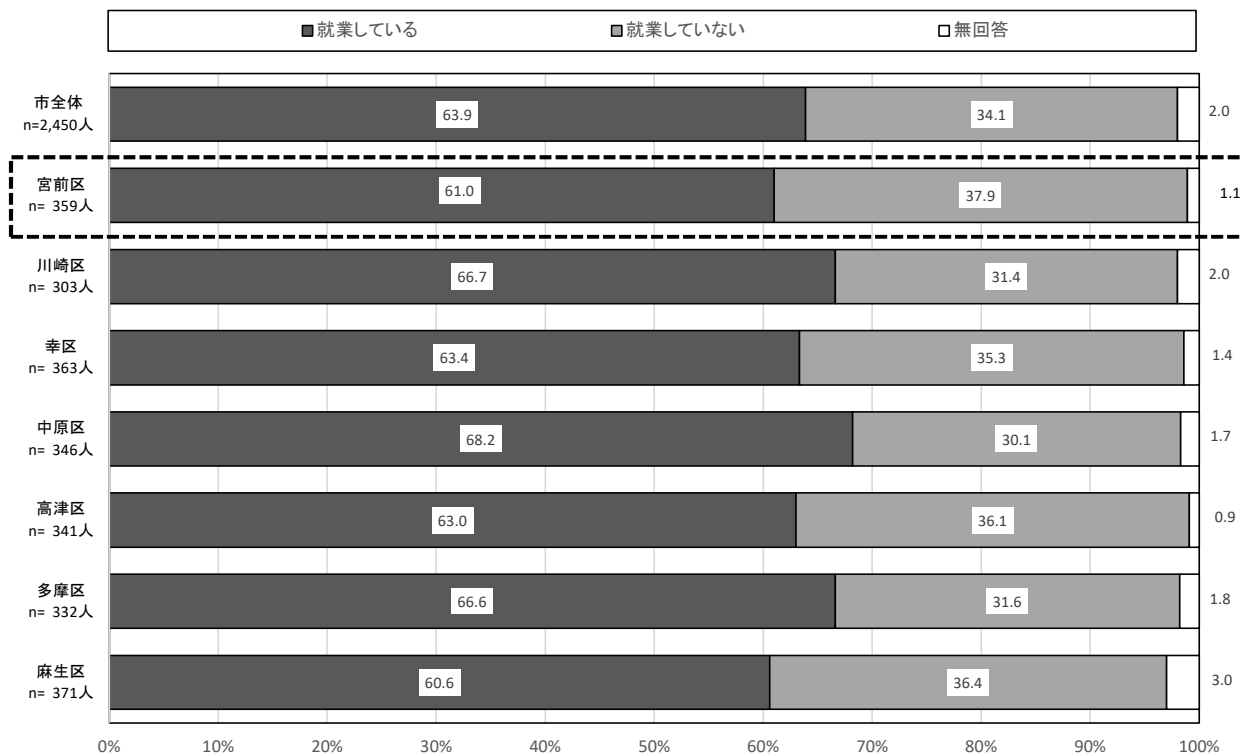


問9 就業の状況はどれに該当しますか。(○は1つだけ)

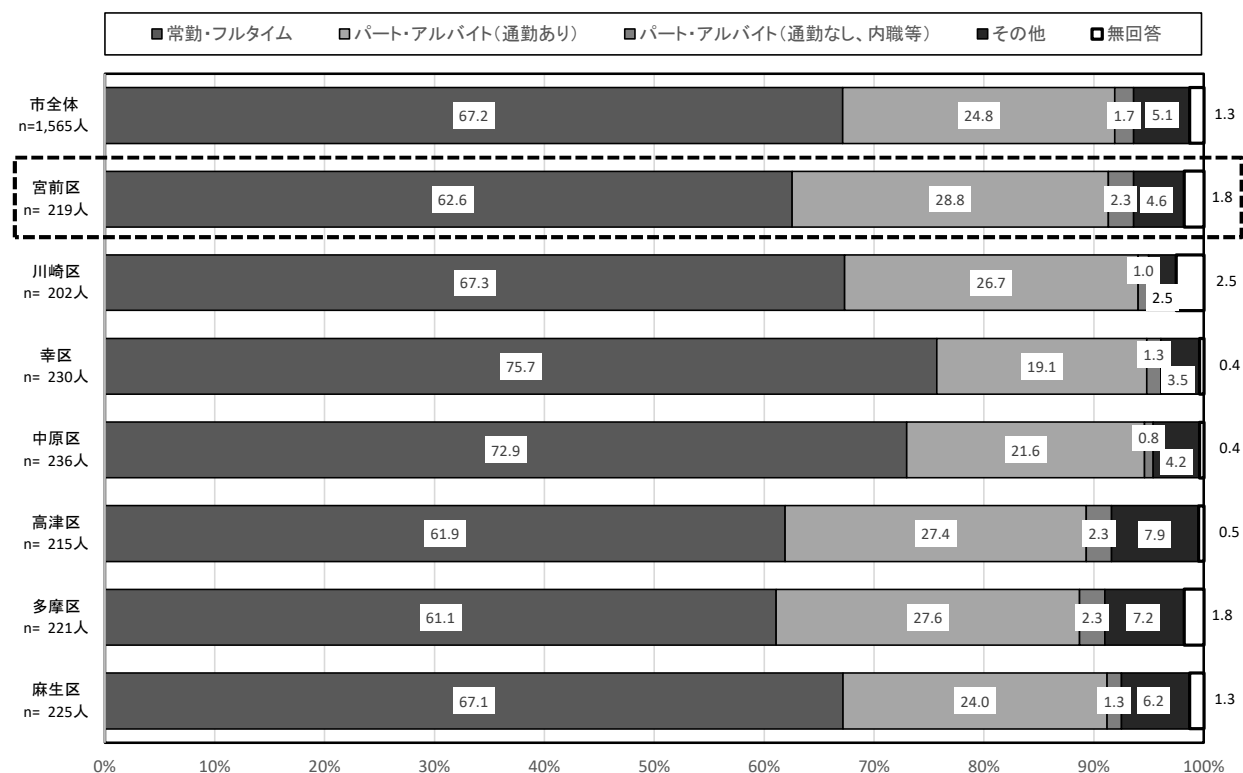
宮前区では、「就業している」割合が61.0%で市全体(63.9%)を下回っている。
市内6区と比較すると、「就業している」割合は2番目に低くなっている。

就業形態については、「常勤・フルタイム」が62.6%で市全体(67.2%)を下回っている。
市内6区と比較すると、「パート・アルバイト(通勤あり)」の割合は28.8%で最も高くなっている。

ア：就業状況

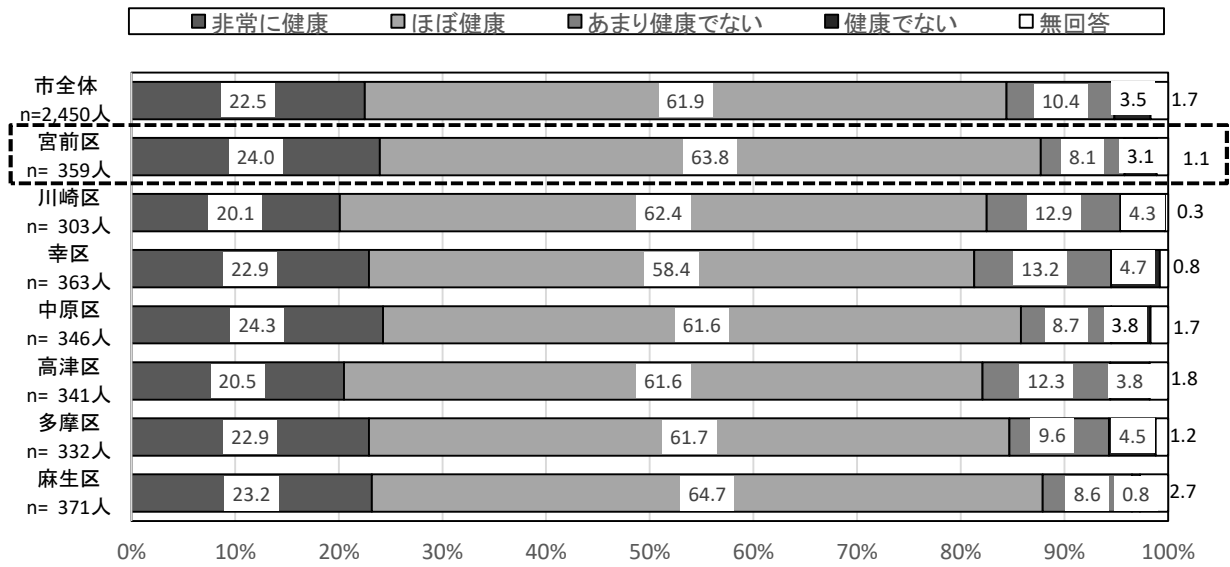


イ：就業形態



問10 あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

宮前区では、「ほぼ健康」の割合が63.8%で市全体(61.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、「非常に健康」の割合が24.0%で、中原区(24.3%)に次いで2番目に高くなっている。

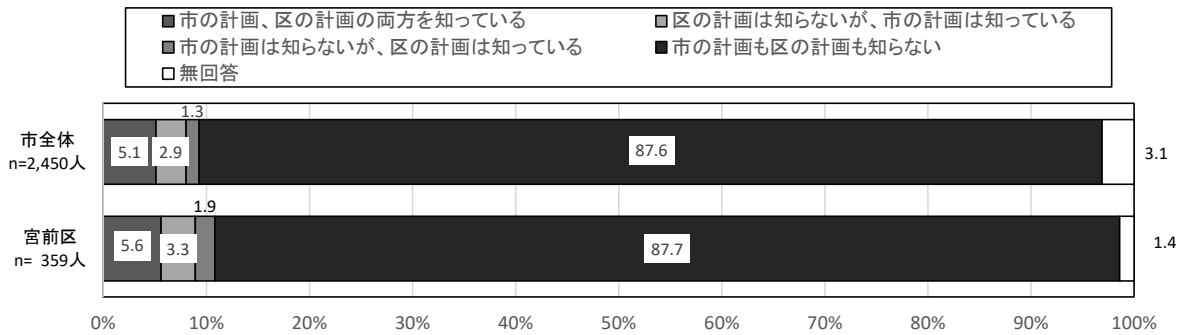


2. 『川崎市地域福祉計画』について

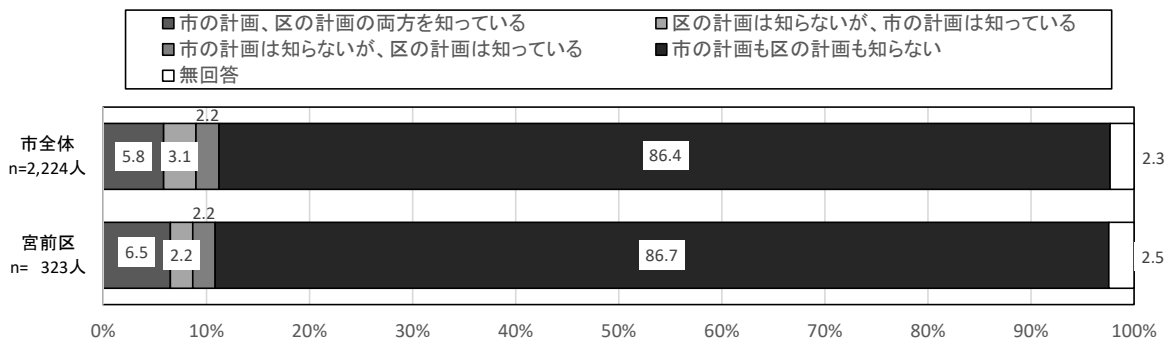
問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

宮前区では、「市の計画も区の計画も知らない」割合が87.7%となっている。

第5回調査と比較すると、「市の計画も区の計画も知らない」割合が1.0ポイント増加している。



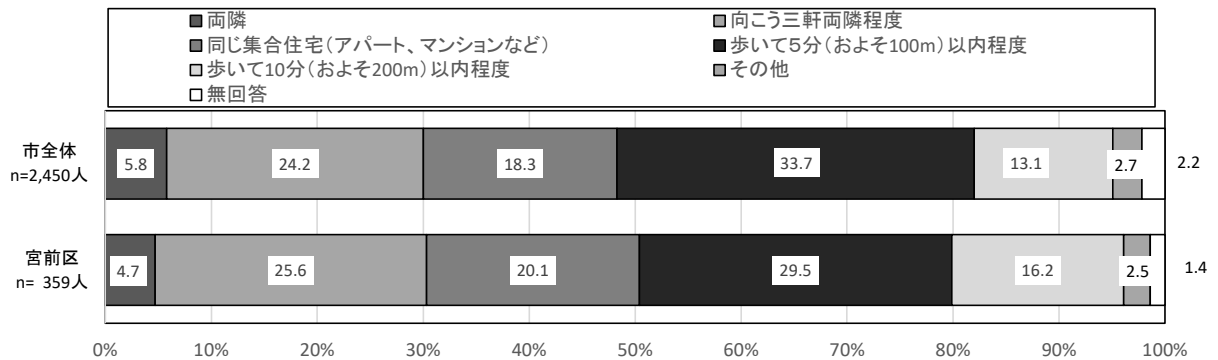
【参考】第5回調査結果



3. 居住地域について

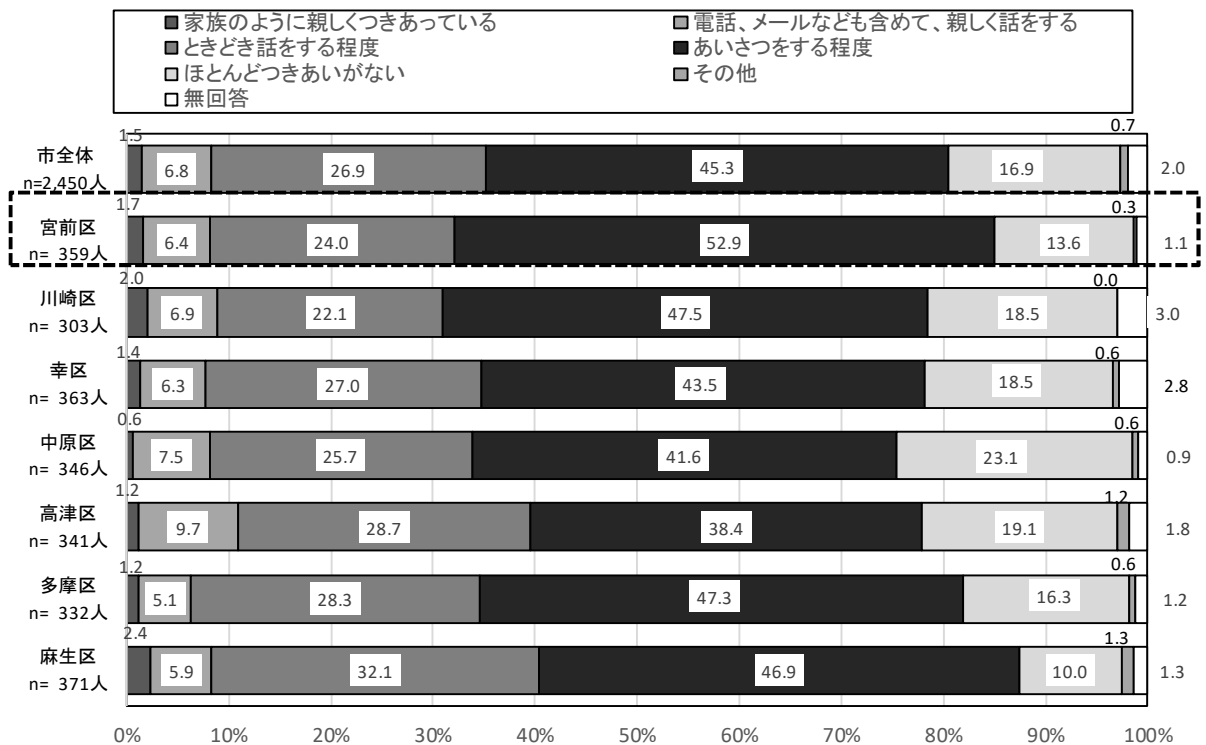
問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

宮前区では、「向こう三軒両隣程度」の割合が25.6%で市全体(24.2%)を上回っている。



問 14 あなたは、ふだんご近所の方との程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

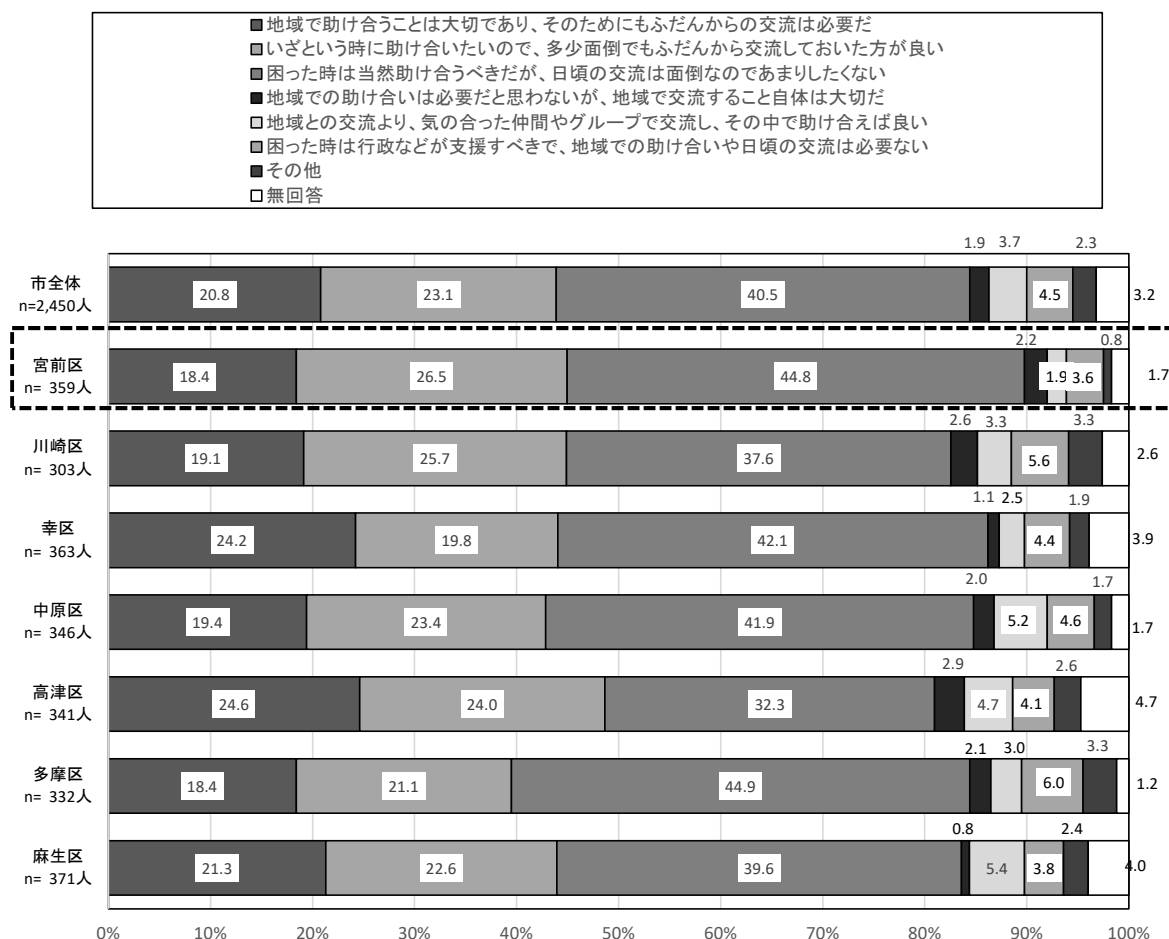
宮前区では、「あいさつをする程度」の割合が52.9%で市全体(45.3%)を上回っている。市内6区と比較すると、「あいさつをする程度」の割合が最も高くなっている。一方で、「ほとんどつきあがない」の割合は13.6%で麻生区(10.0%)に次いで2番目に低くなっている。



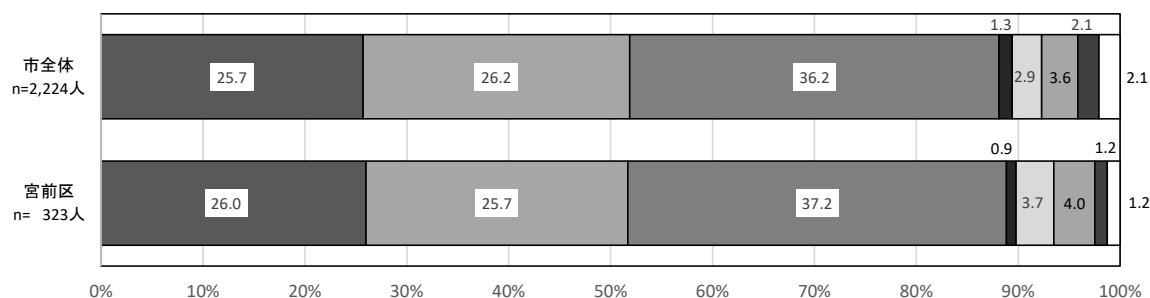
問 15 あなたは、近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。
(○は1つだけ)

宮前区では、「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が44.8%で市全体(40.5%)を上回っている。市内6区と比較すると、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」の割合は26.5%で最も高くなっている。

第5回調査と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」の割合は7.6ポイント減少し、「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が7.6ポイント増加している。

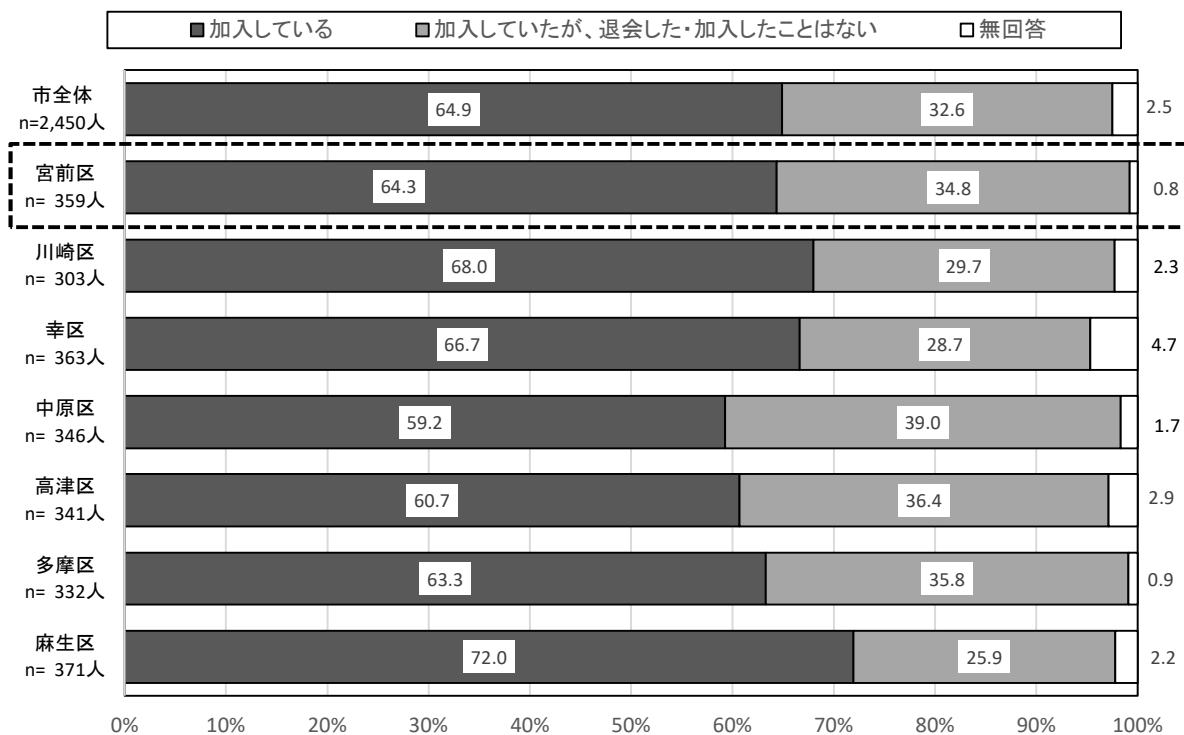


【参考】第5回調査結果



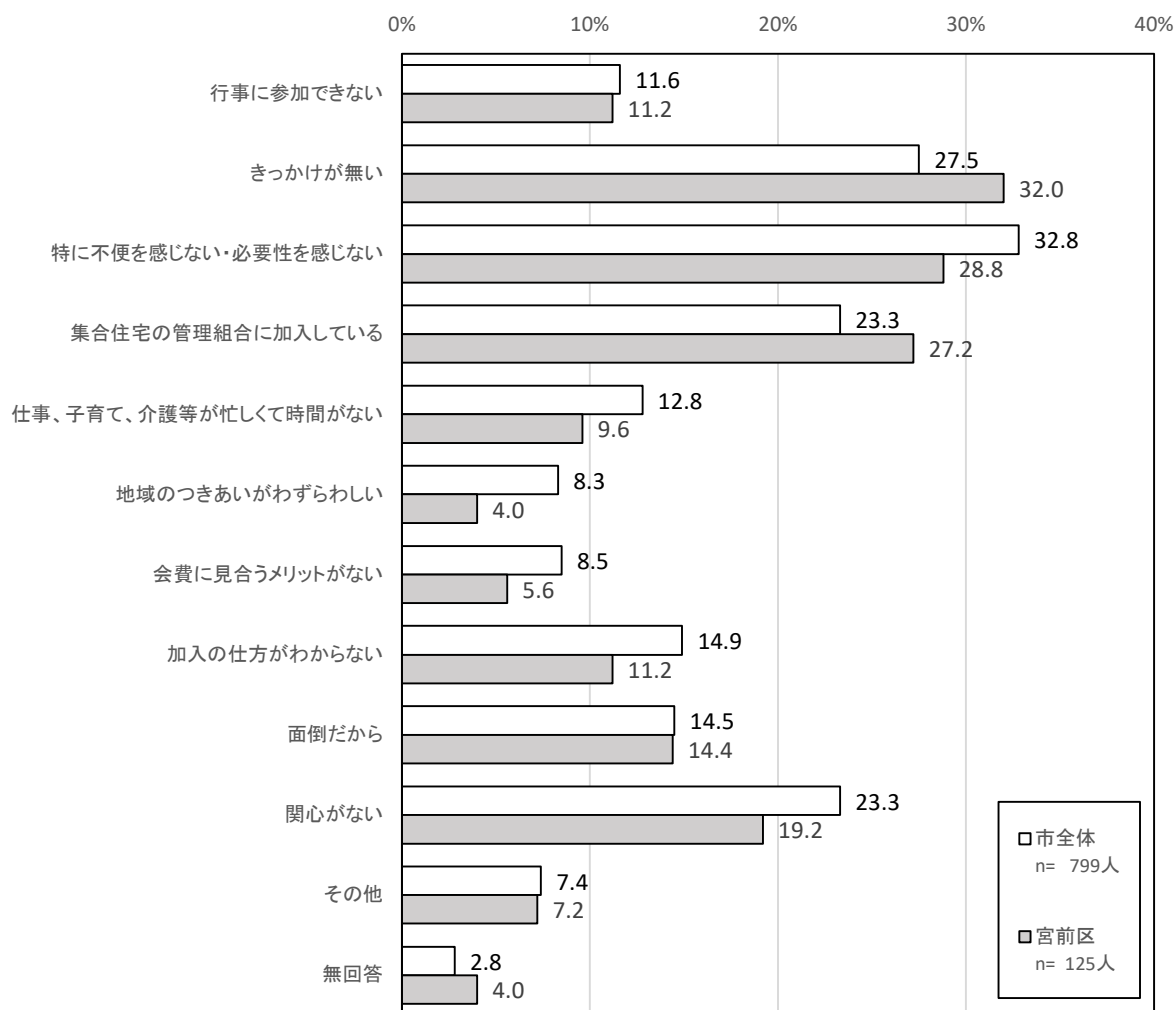
問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(〇は1つだけ)

宮前区では、「加入している」割合が64.3%で市全体(64.9%)を下回っている。市内6区と比較すると、「加入している」、「加入していたが、退会した・加入したことはない」割合はともに4番目となっている。



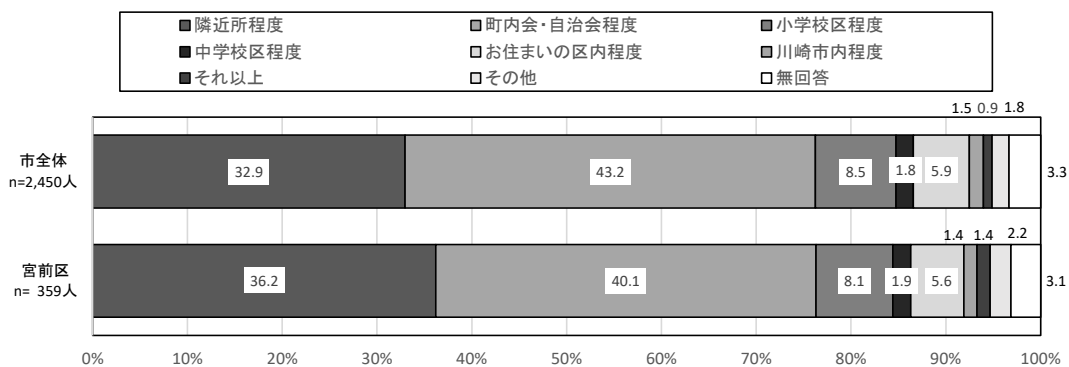
問 16 - 1 《問 16 で「加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方》現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

宮前区では、「きっかけが無い」の割合が 32.0% で市全体（27.5%）を上回っている。



問 17 あなたは、助けあいをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

宮前区では、「隣近所程度」の割合が 36.2% で市全体（32.9%）を上回っている。

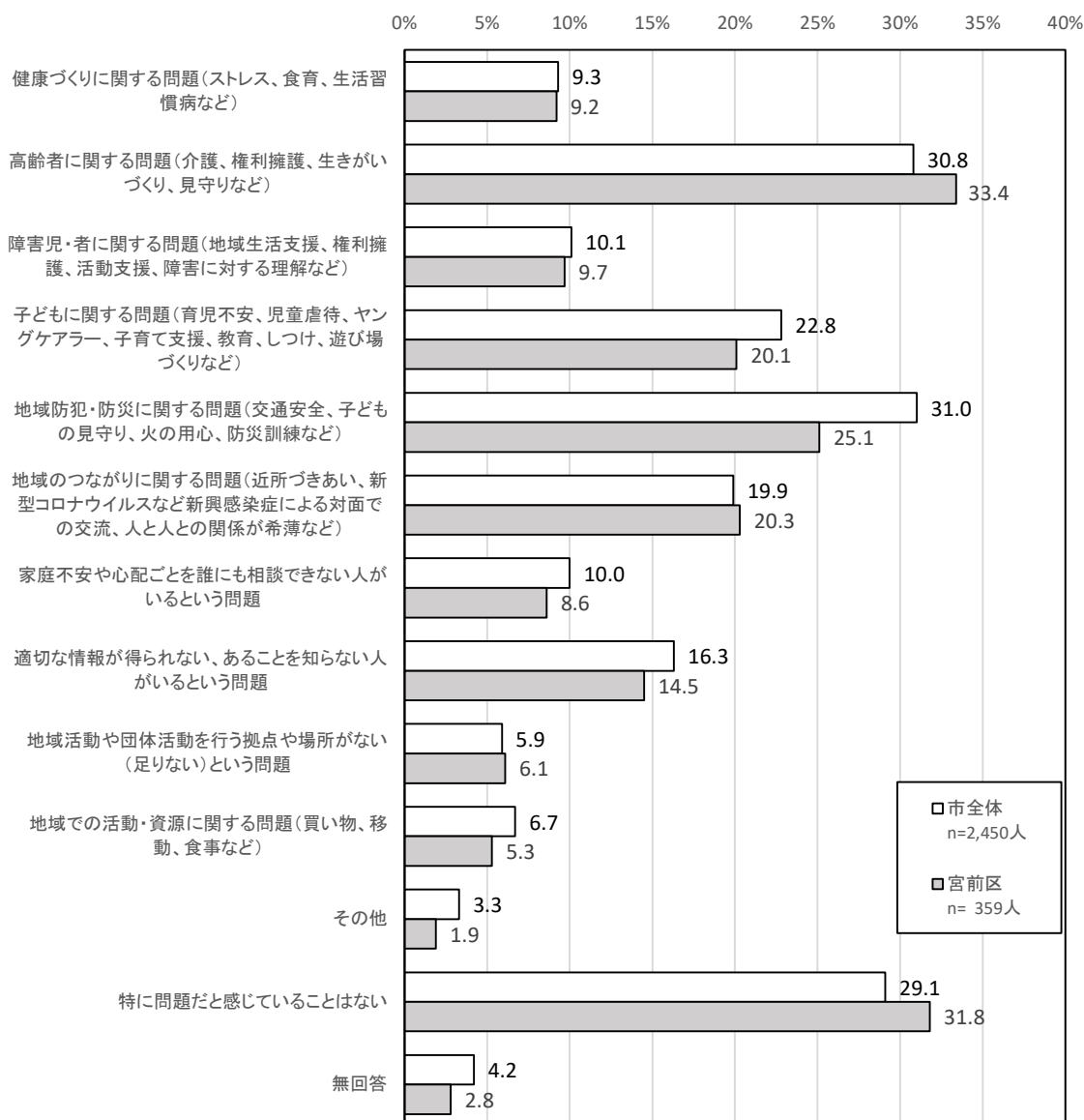


問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。

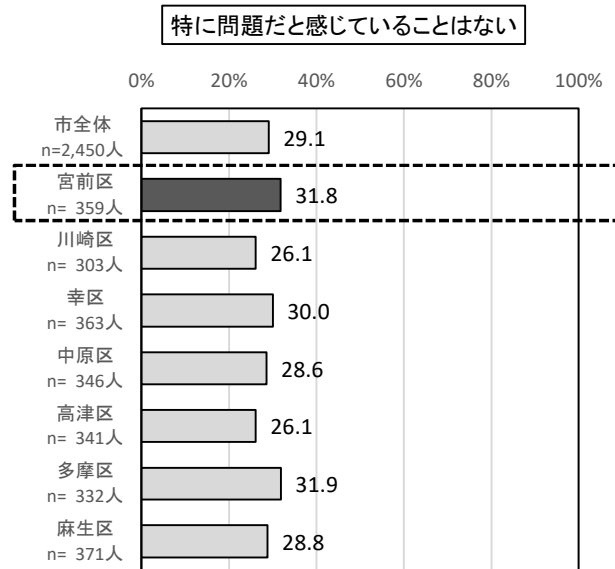
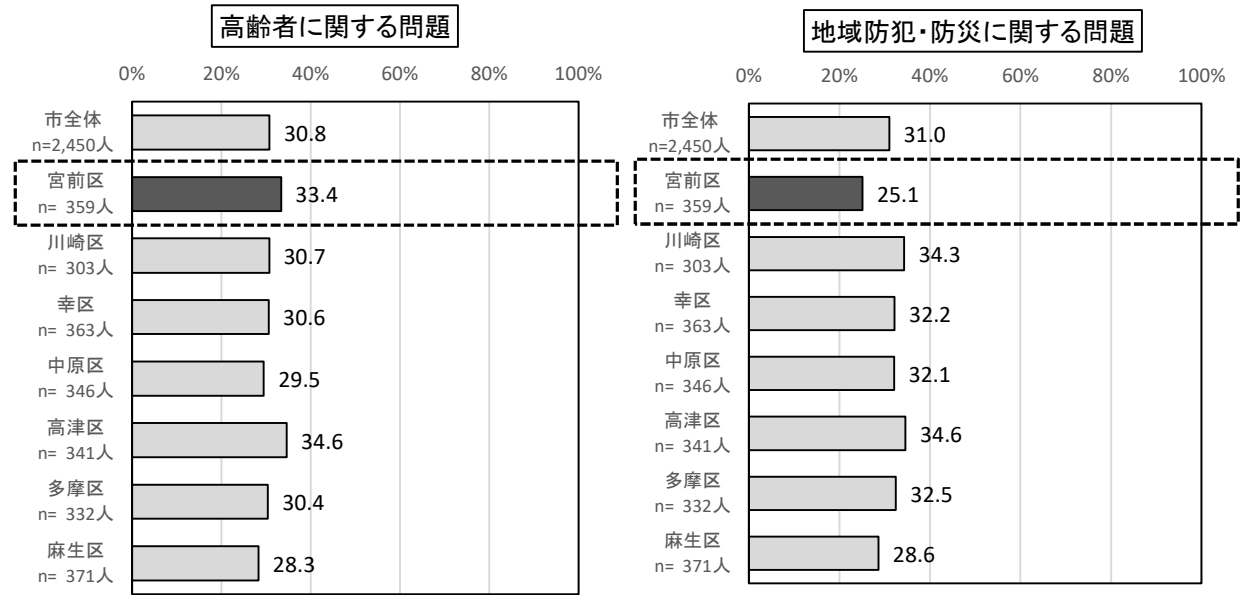
(あてはまるものすべてに○)

宮前区では、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」の割合が 33.4%で最も高く、次いで「特に問題だと感じていることはない」（31.8%）、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」（25.1%）となっている。

市内6区と比較すると、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」（33.4%）が2番目に高く、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」（25.1%）が最も低い。「特に問題だと感じていることはない」（31.8%）が2番目に高い。

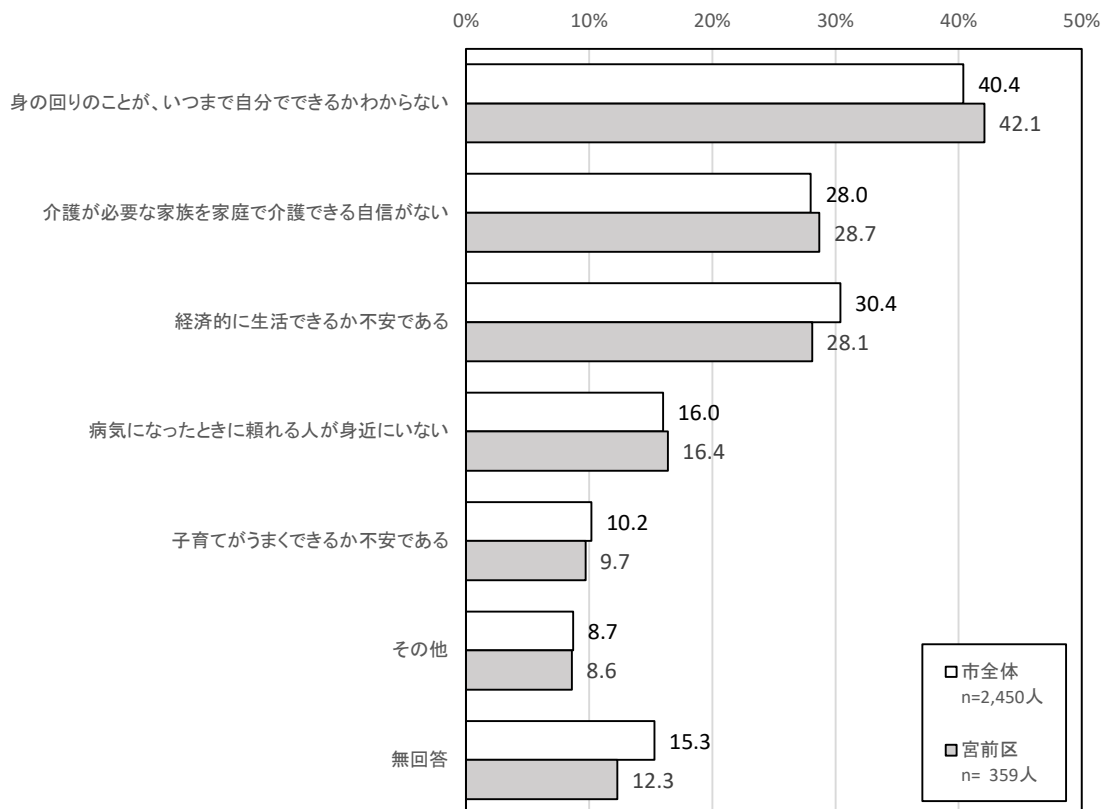


【参考】



問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

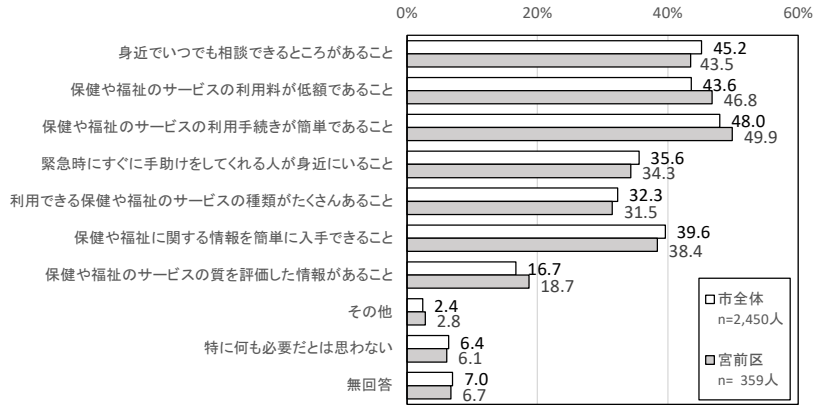
宮前区では、「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が42.1%で最も高く、次いで「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」(28.7%)、「経済的に生活できるか不安である」(28.1%)となっている。



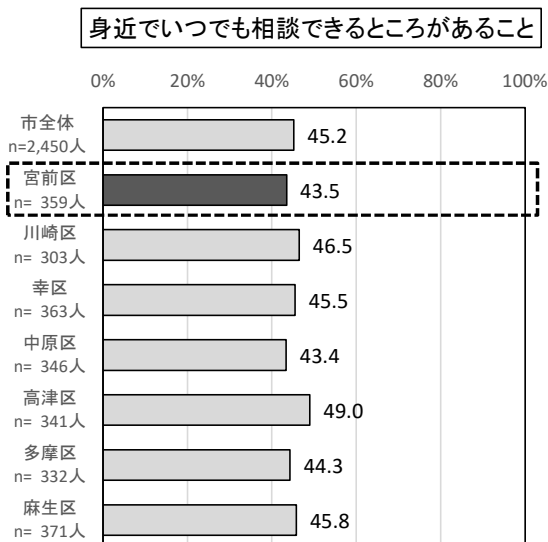
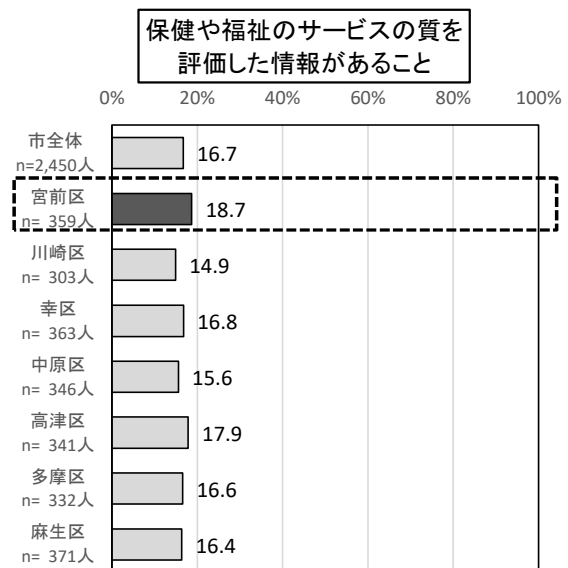
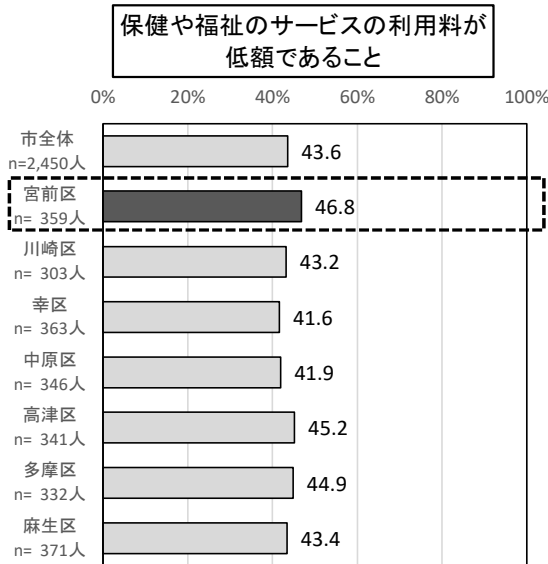
問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

宮前区は、「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」が49.9%で、市全体(48.0%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「保健や福祉のサービスの利用料が低額であること」は46.8%、「保健や福祉サービスの質を評価した情報があること」は18.7%と最も高くなっている。また、「身近でいつでも相談できるところがあること」は43.5%と2番目に低くなっている。



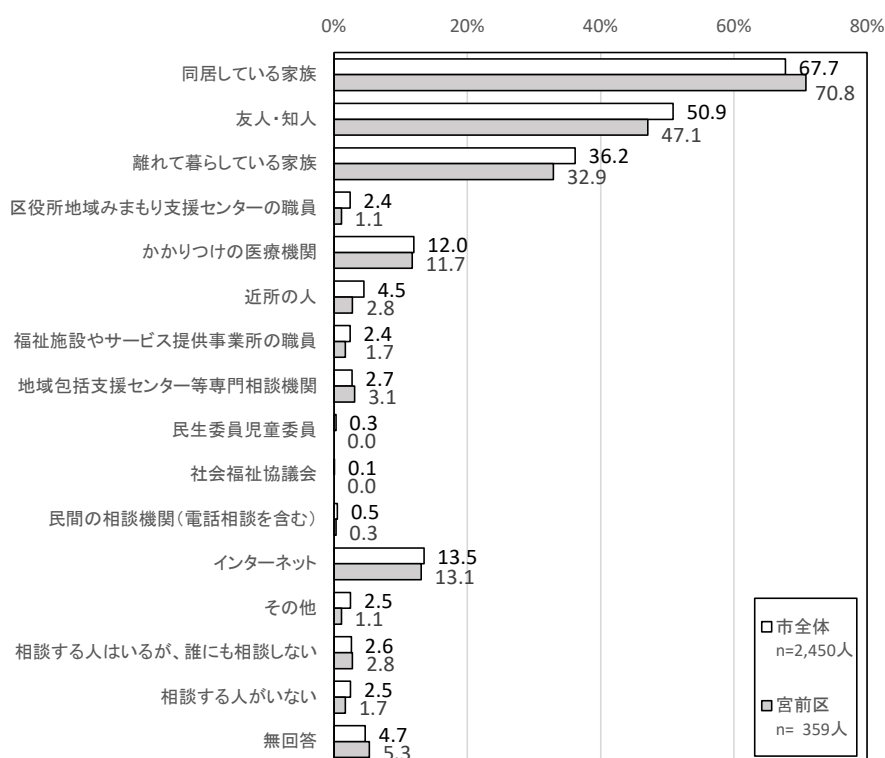
【参考】



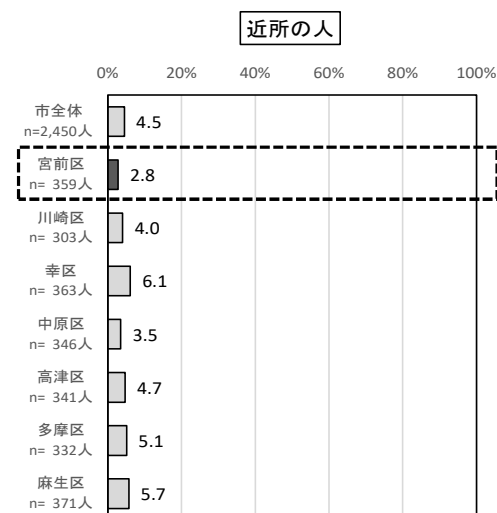
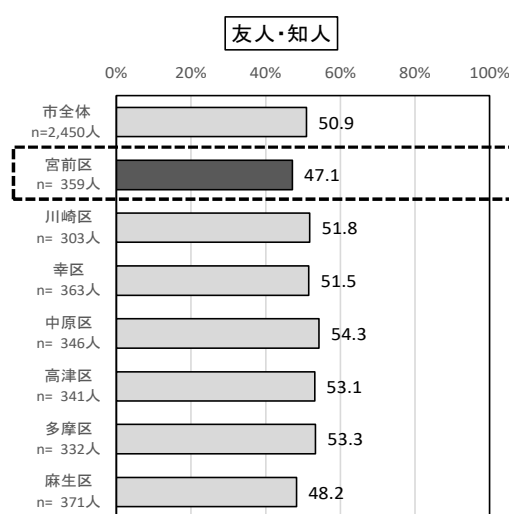
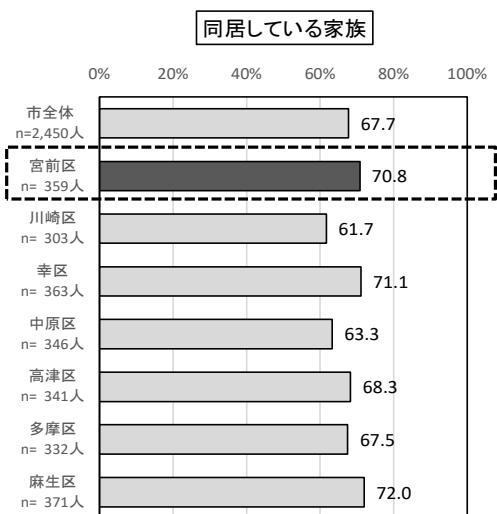
問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

宮前区では、「同居している家族」が70.8%で市全体(67.7%)より高くなっている。

市内6区と比較すると、「同居している家族」が70.8%と3番目に高く、「友人・知人」が47.1%、「近所の人」が2.8%と最も低くなっている。



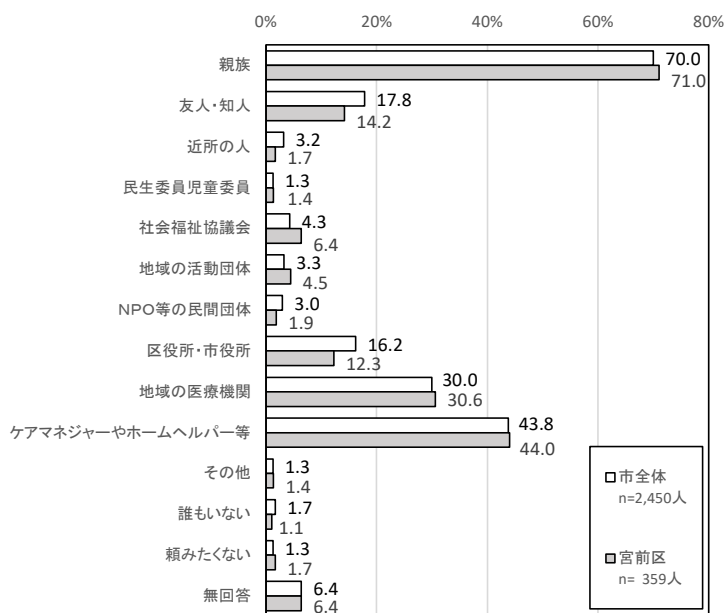
【参考】



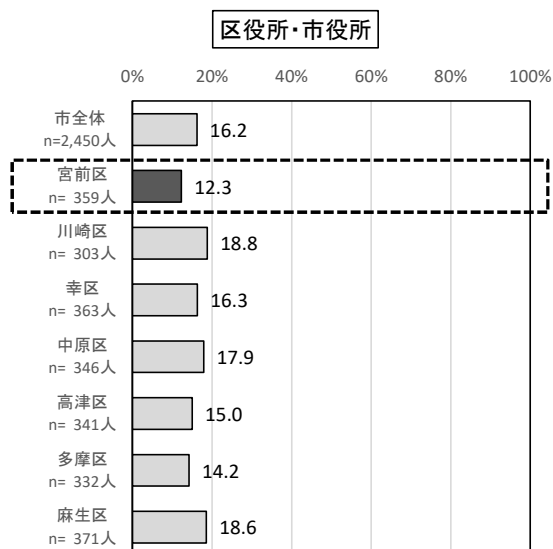
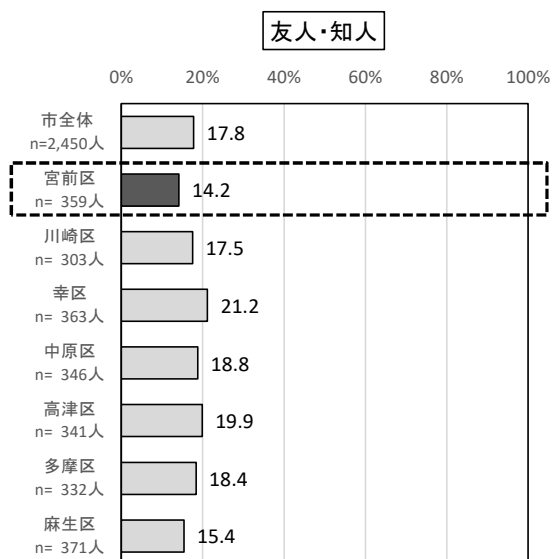
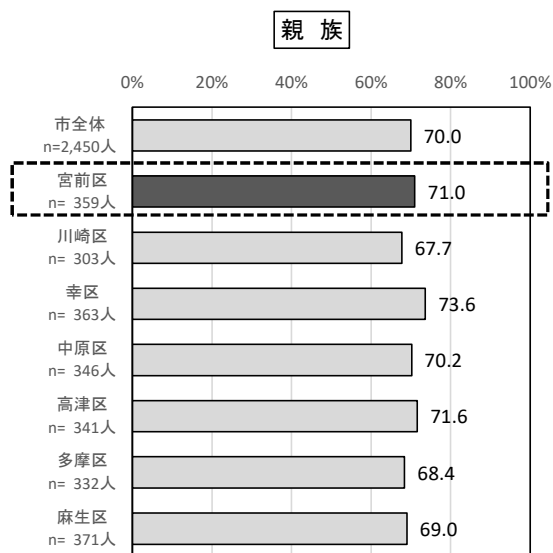
問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（〇は3つまで）

宮前区では、「親族」は71.0%で市全体（70.0%）を上回っている。

市内6区と比較すると、「親族」は71.0%と3番目に高く、「友人・知人」は14.2%、「区役所・市役所」は12.3%と最も低くなっている。



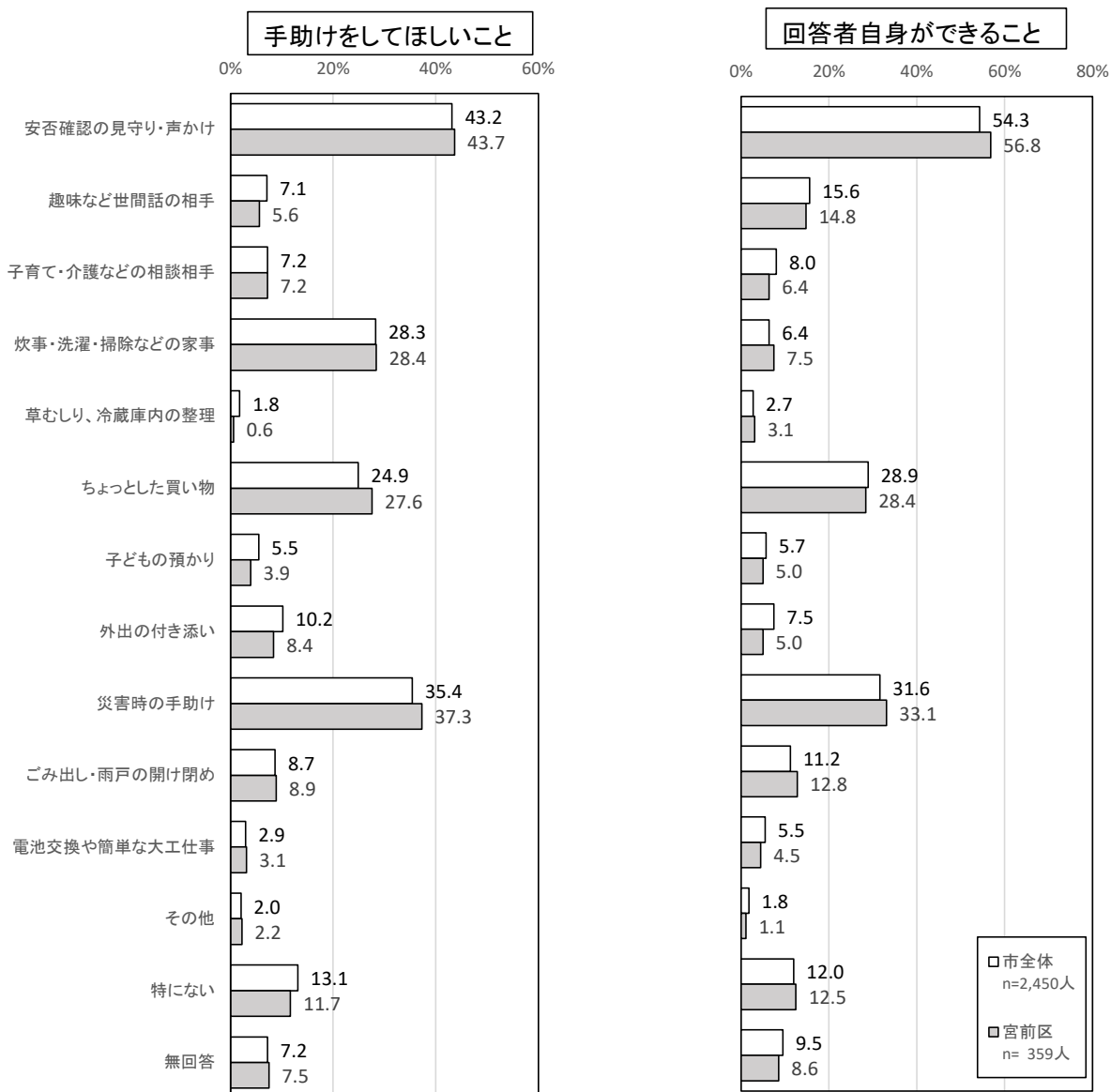
【参考】



問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(〇は3つまで)

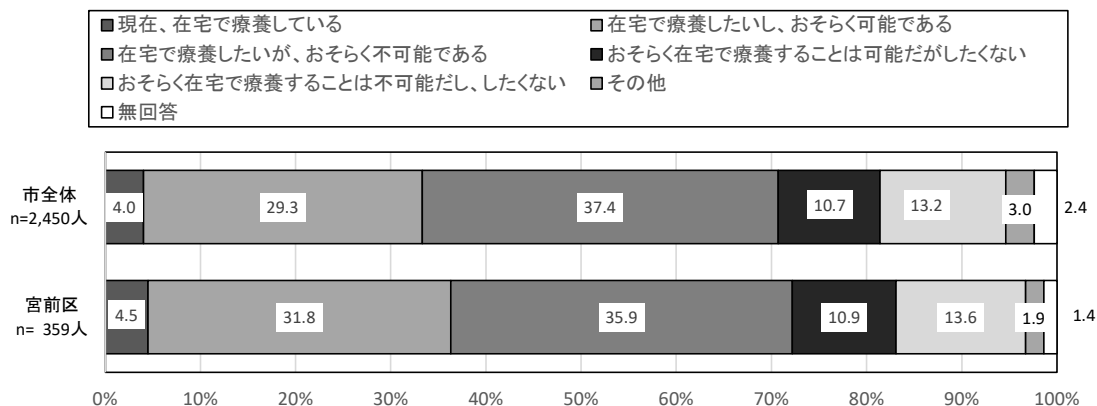
問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

宮前区では、手助けをしてほしいことについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が43.7%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(37.3%)、「炊事・洗濯・掃除などの家事」(28.4%)となっており、自身ができることについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が56.8%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(33.1%)、「ちょっとした買物」(28.4%)となっている。



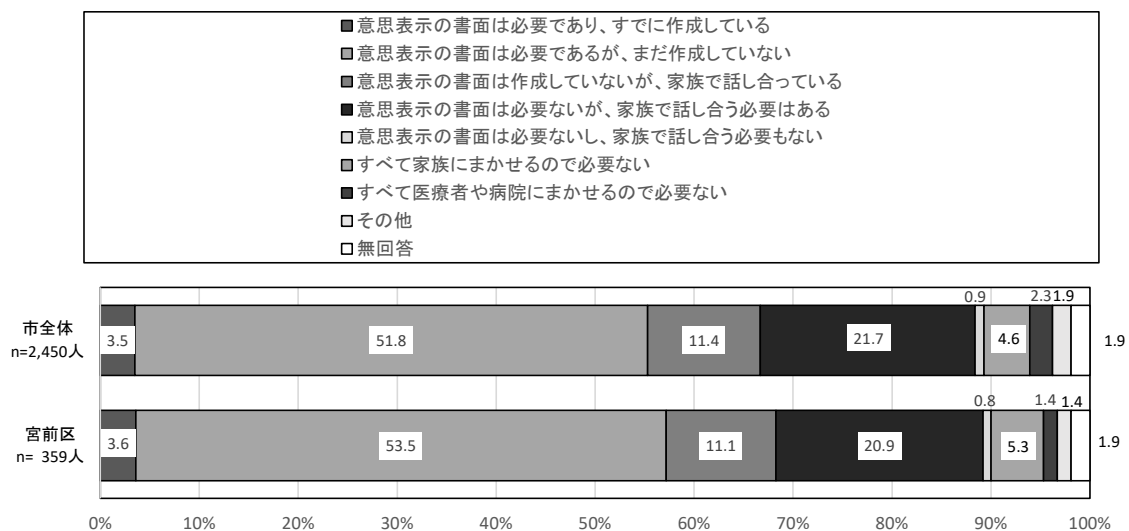
問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。(〇は1つだけ)

宮前区では、「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が35.9%で最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」(31.8%)、「おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない」(13.6%)となっている。



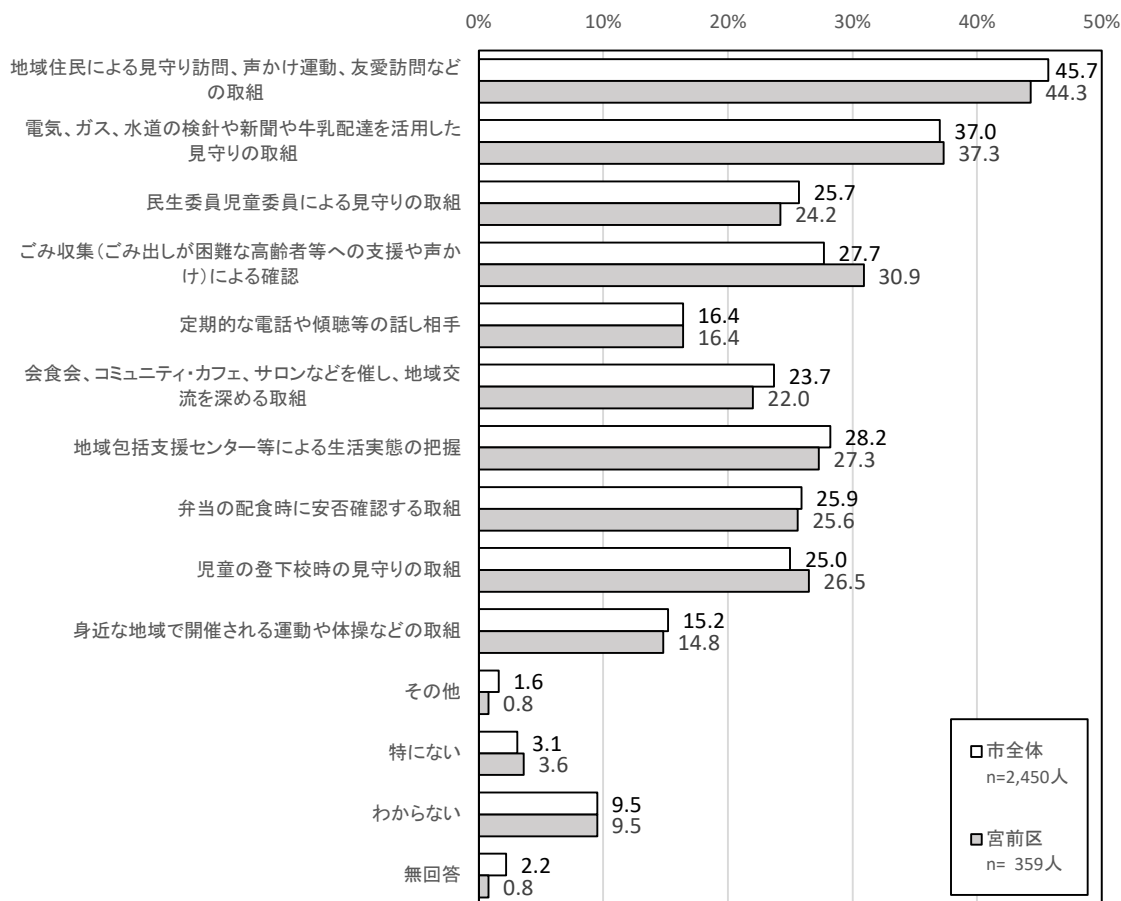
問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

宮前区では、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が53.5%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」(20.9%)、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」(11.1%)となっている。



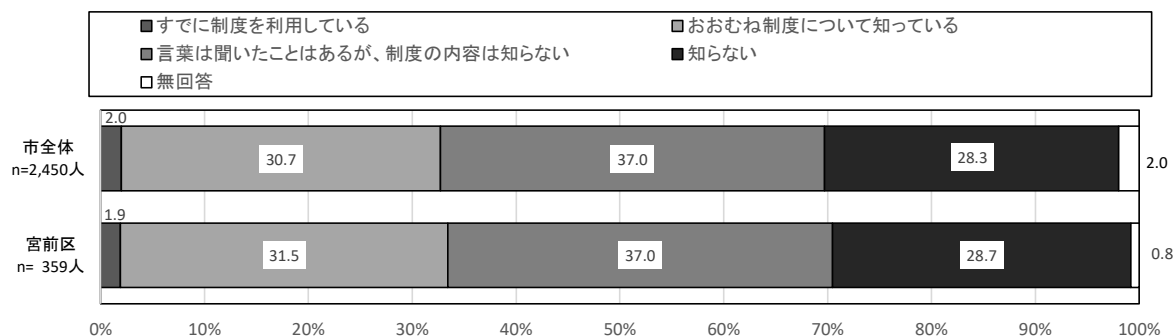
問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（〇は5つまで）

宮前区では、「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」の割合が44.3%で最も高く、次いで「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」（37.3%）、「ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認」（30.9%）となっている。



問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（〇は1つだけ）

宮前区では、「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が37.0%で最も高く、次いで「おおむね制度について知っている」（31.5%）、「知らない」（28.7%）となっている。

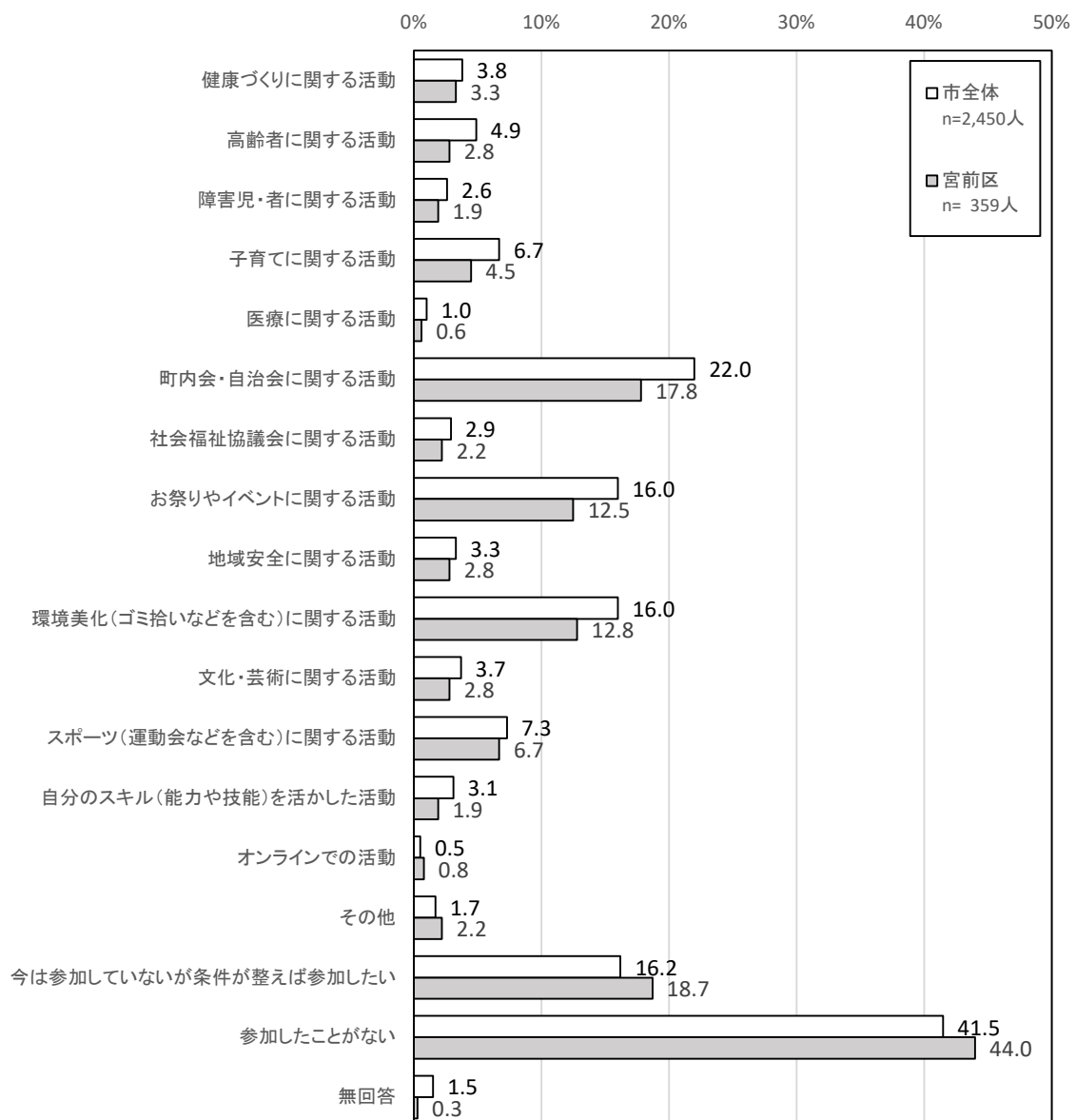


4. 地域活動やボランティア活動について

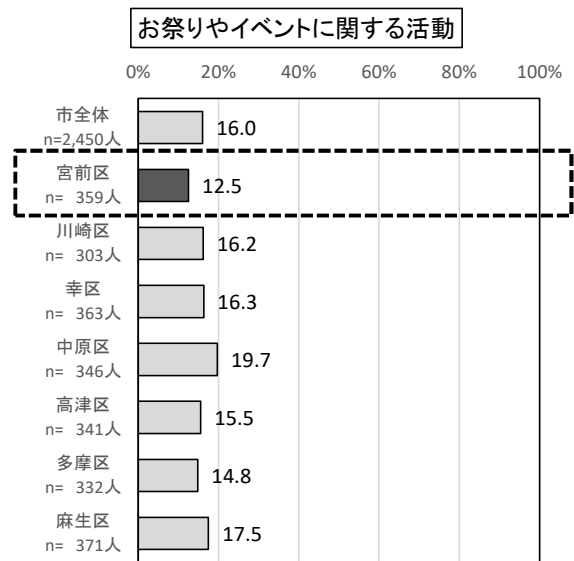
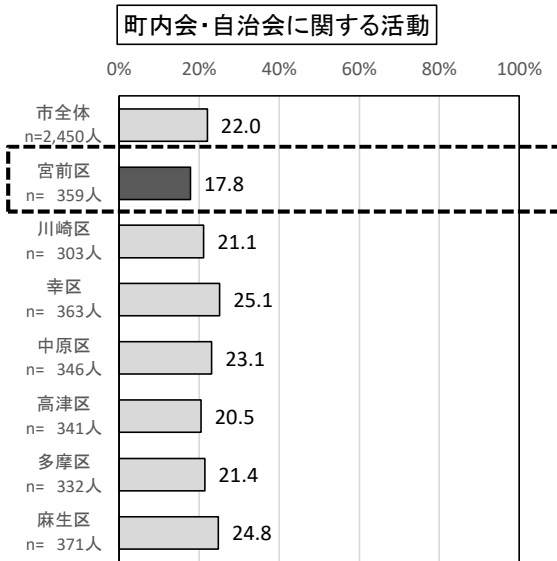
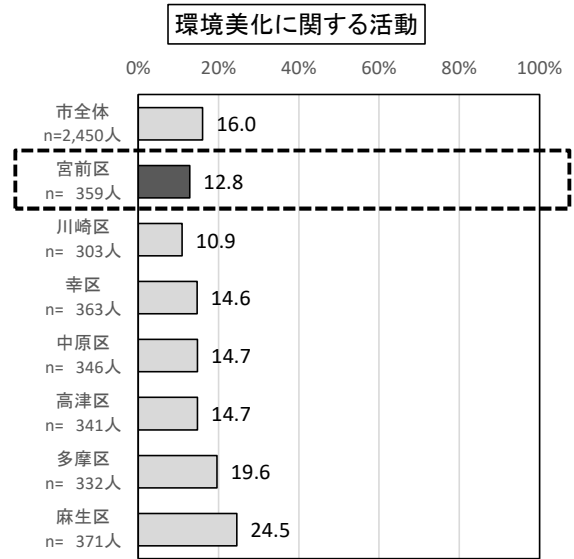
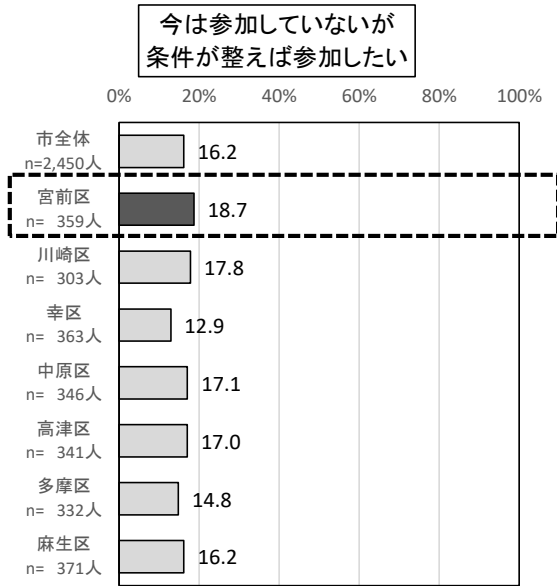
問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

宮前区では、「参加したことがない」の割合が44.0%で最も高く、次いで「今は参加していないが条件が整えば参加したい」（18.7%）、「町内会・自治会に関する活動」（17.8%）となっている。

市内6区と比較すると、「今は参加していないが条件が整えば参加したい」の割合は18.7%で最も高くなっている。また、「環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動」（12.8%）は2番目に低く、「町内会・自治会に関する活動」（17.8%）、「お祭りやイベントに関する活動」（12.5%）は最も低くなっている。



【参考】

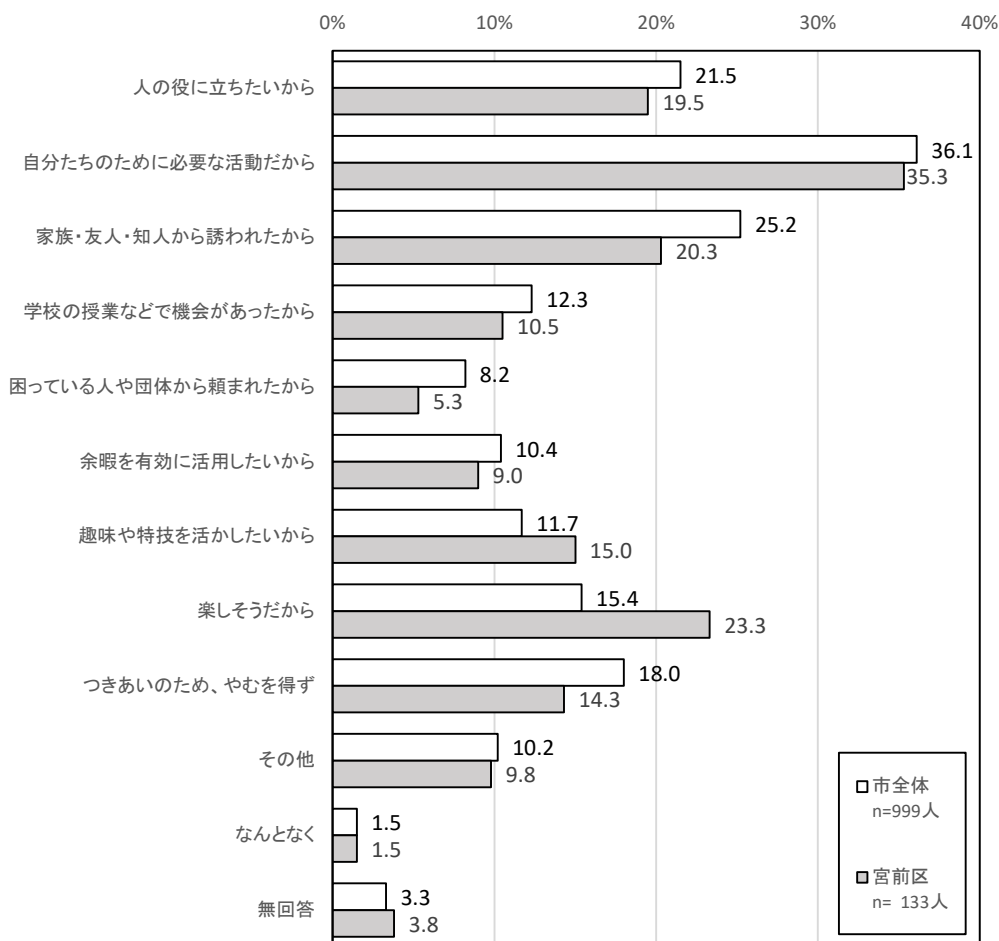


問 30 - 1 《問 30 で「1」～「15」のいずれか（ボランティア活動に参加したことがある）にお答えの方》

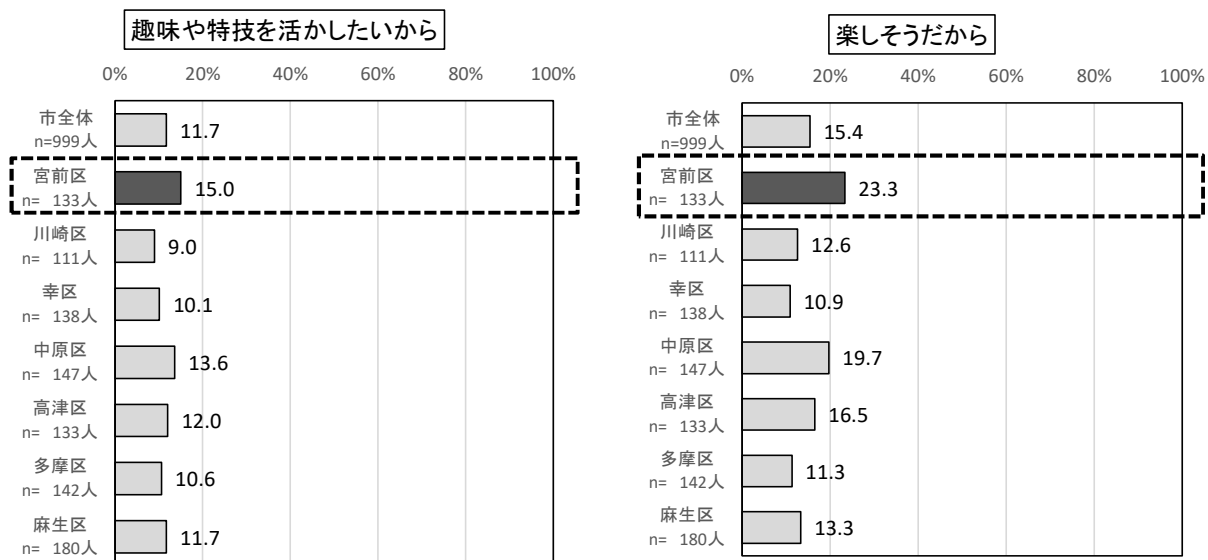
活動に参加した動機やきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

宮前区では、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が 35.3%で最も高く、次いで「楽しそうだから」（23.3%）、「家族・友人・知人から誘われたから」（20.3%）となっている。

市内6区と比較すると、「趣味や特技を活かしたいから」が 15.0%、「楽しそうだから」が 23.3%で最も高くなっている。



【参考】

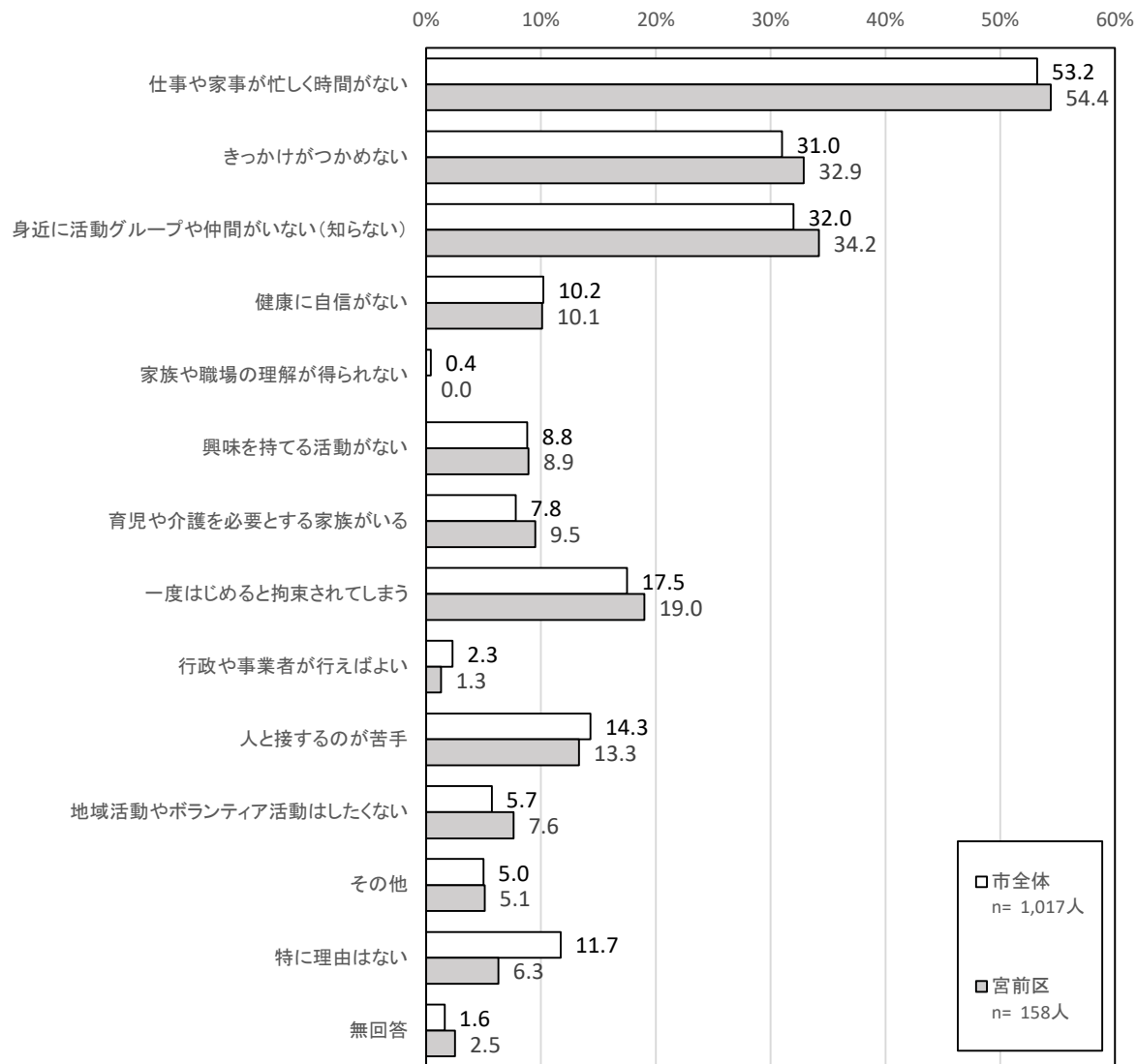


問 30 - 6 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

宮前区では、「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が 54.4%で最も高く、次いで「身近に活動グループや仲間がいない(知らない)」(34.2%)、「きっかけがつかめない」(32.9%)となっている。

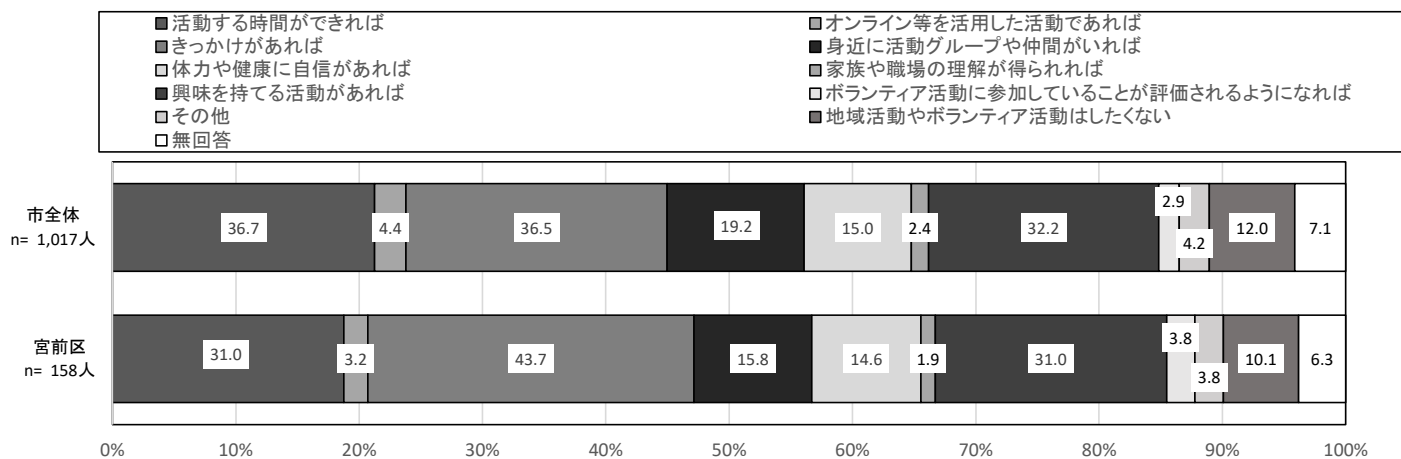


問 30 - 7 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

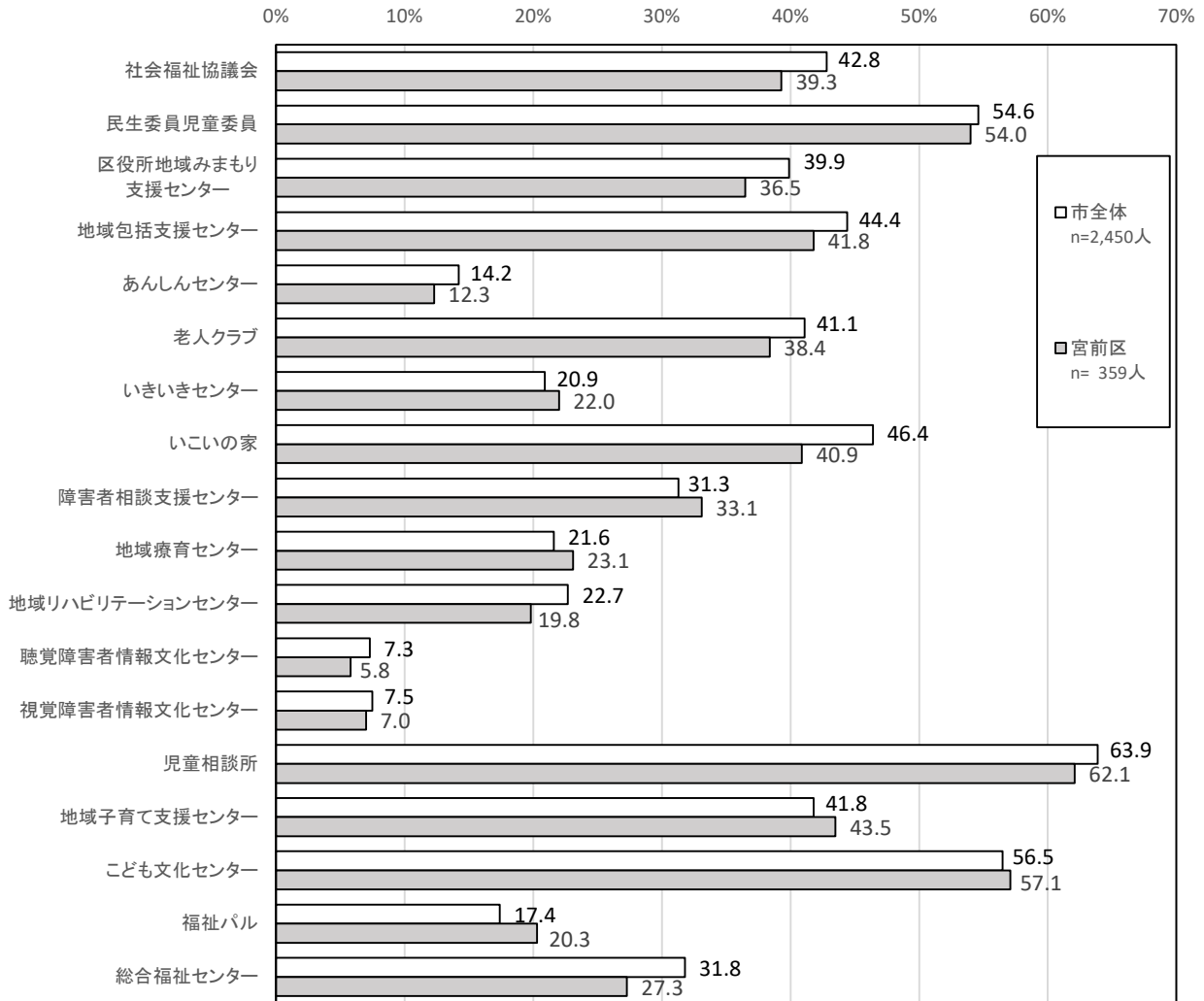
宮前区では、「きっかけがあれば」が 43.7%で最も高く、次いで「活動する時間ができれば」、
「興味を持てる活動があれば」がそれぞれ 31.0%となっている。



5. 保健・福祉に関することについて

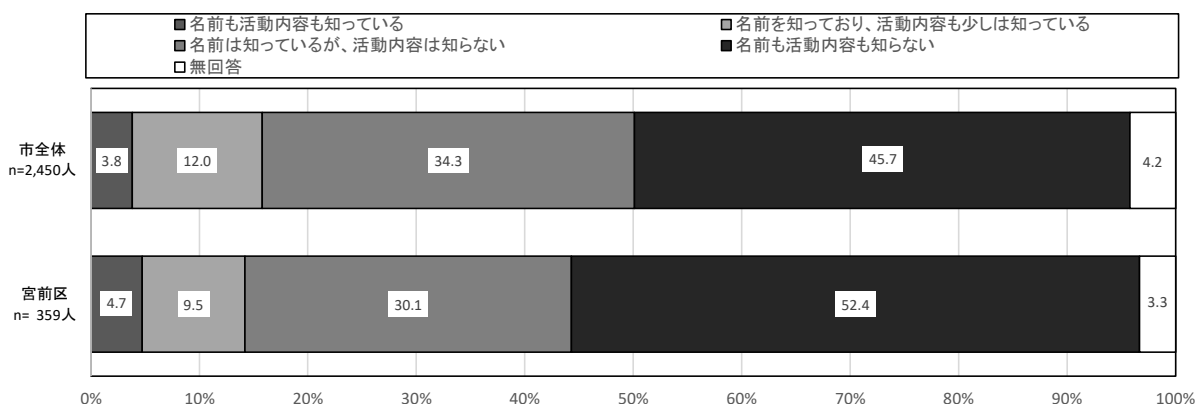
問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存じですか。（○はそれぞれ1つだけ）

宮前区では、「児童相談所」を知っている人の割合が62.1%で最も高く、次いで「こども文化センター」（57.1%）、「民生委員児童委員」（54.0%）となっている。



問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存じですか。(〇は1つだけ)

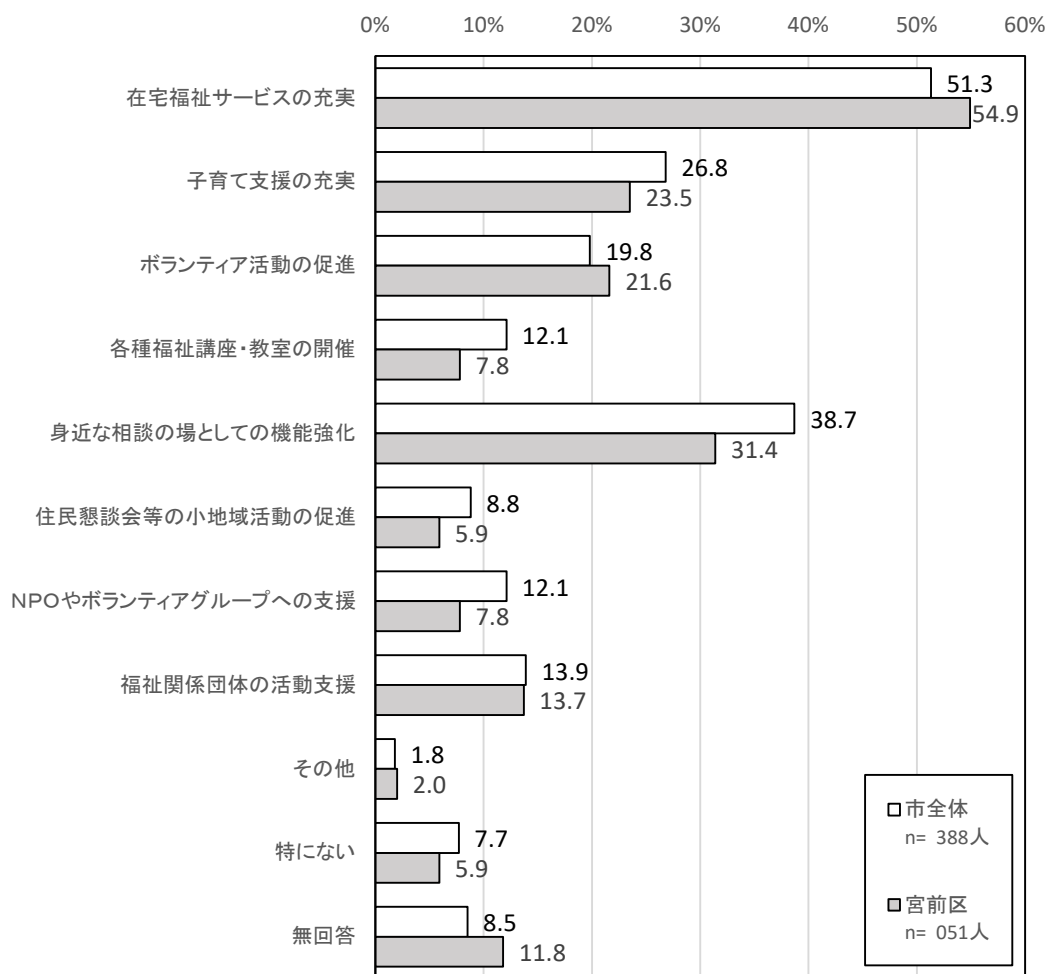
宮前区では、「名前も活動内容も知らない」の割合が52.4%で最も高く、次いで「名前は知っているが、活動内容は知らない」(30.1%)、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」(9.5%)となっている。



問 32 - 1 《問 32 で「名前も活動内容も知っている」「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」にお答えの方》

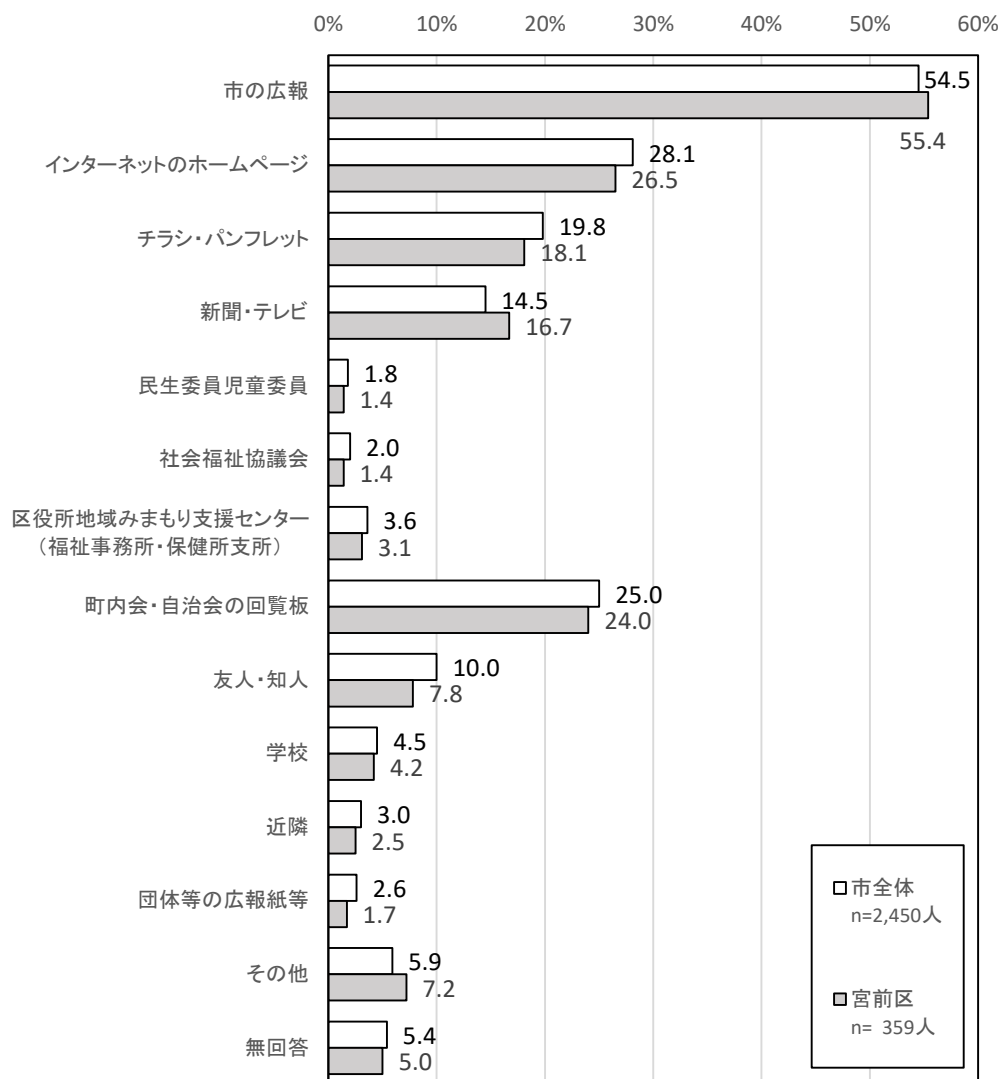
あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。(〇は3つまで)

宮前区では、「在宅福祉サービスの充実」の割合が54.9%で最も高く、次いで「身近な相談の場としての機能強化」(31.4%)、「子育て支援の充実」(23.5%)となっている。



問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

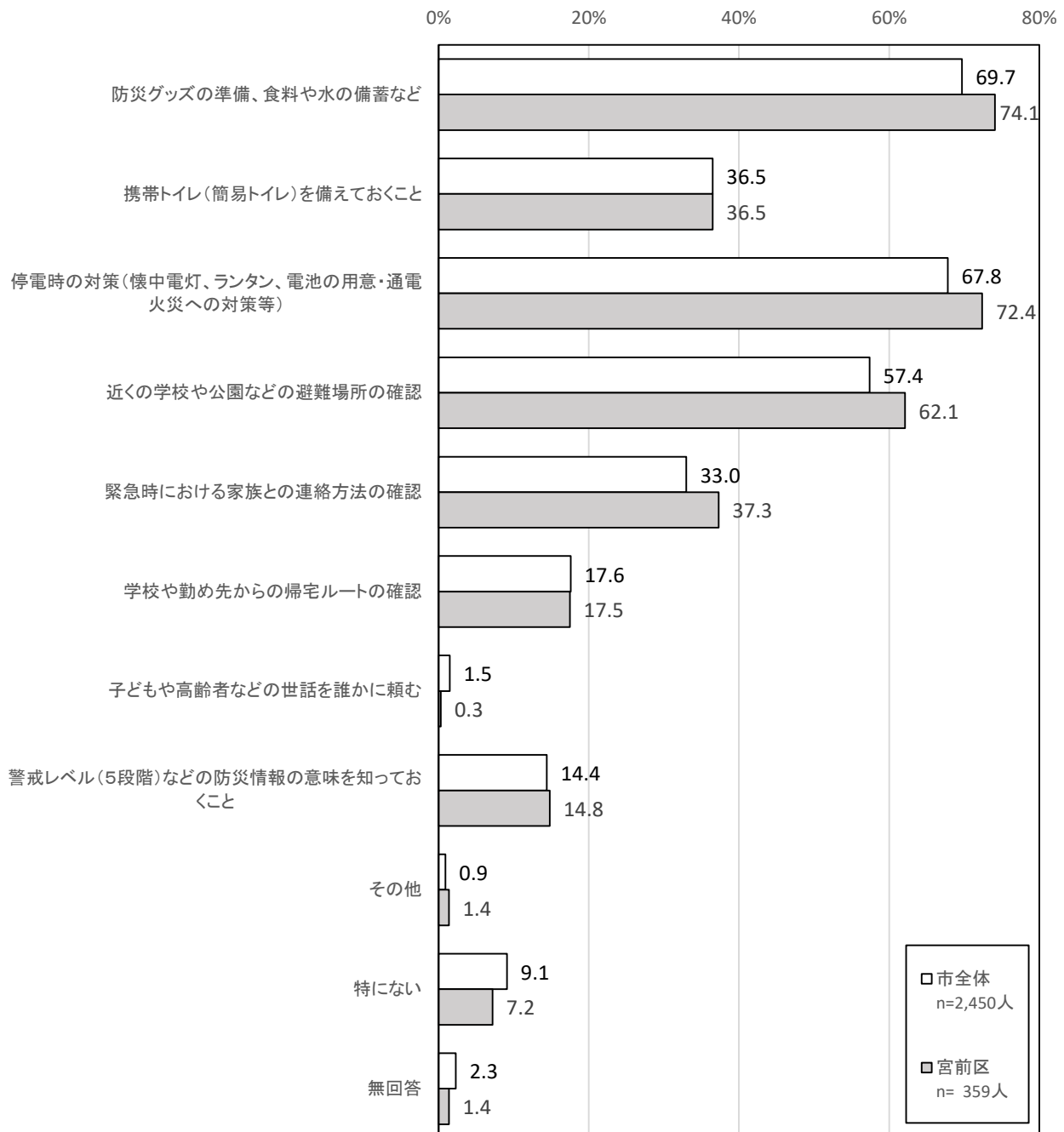
宮前区では、「市の広報」の割合が 55.4%で最も高く、次いで「インターネットのホームページ」(26.5%)、「町内会・自治会の回覧板」(24.0%)となっている。



6. 防災に対する意識と備えについて

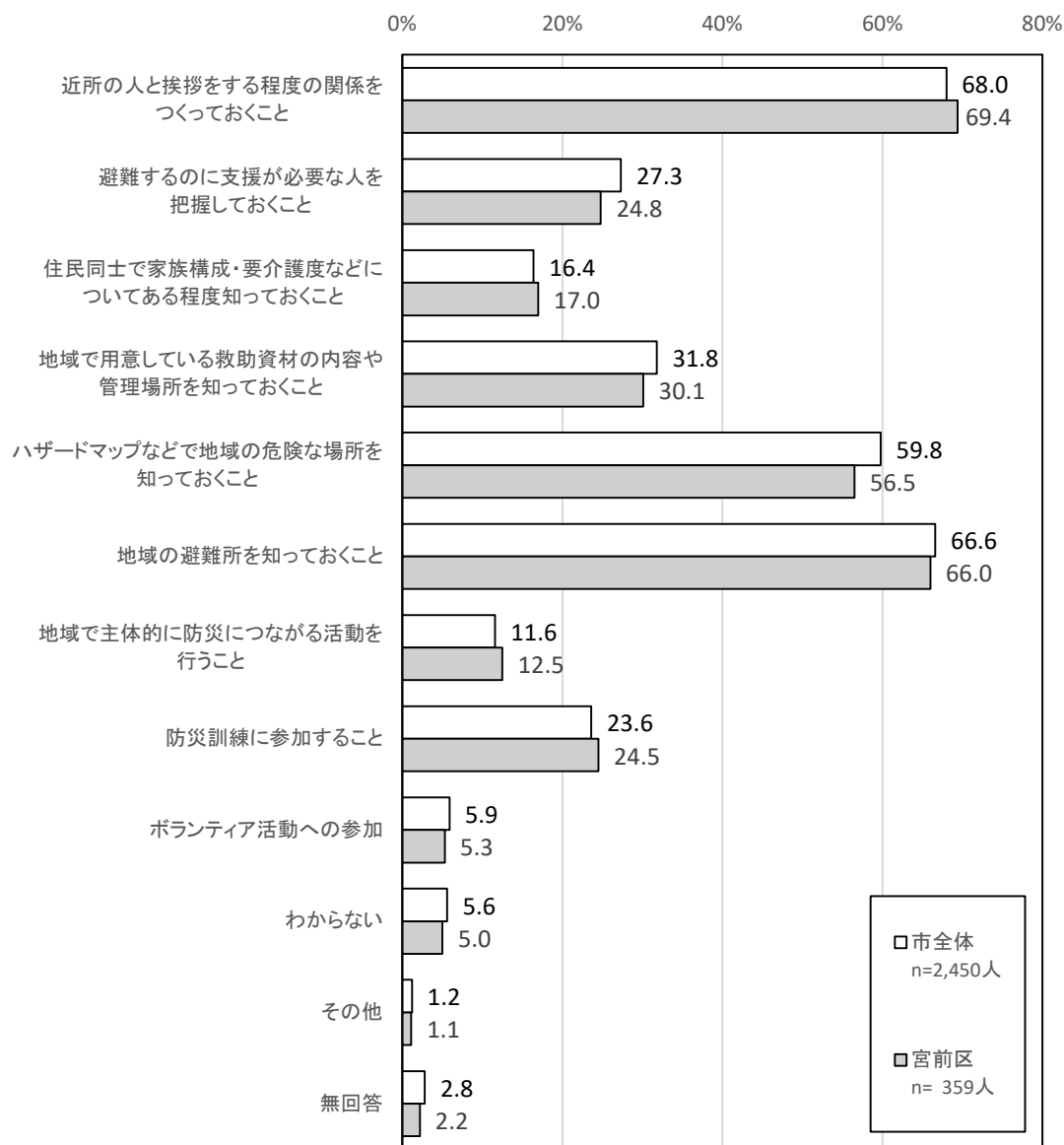
問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

宮前区では、「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」の割合が74.1%で最も高く、次いで「停電時の対策(懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等)」(72.4%)、「近くの学校や公園などの避難場所の確認」(62.1%)となっている。



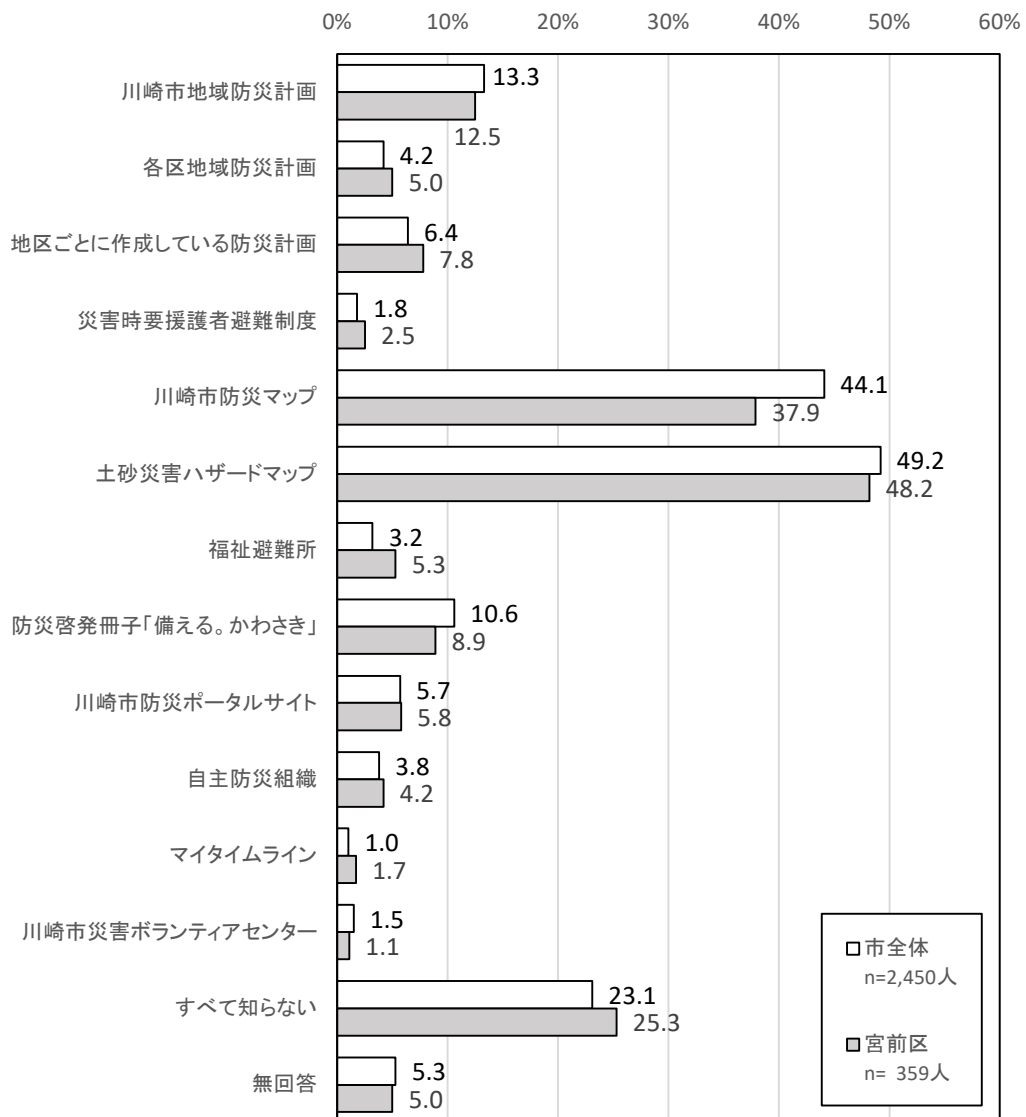
問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）（新規設問）

宮前区では、「近所の人と挨拶をする程度のおつきあいをしておくこと」の割合が69.4%で最も高く、次いで「地域の避難所を知っておくこと」（66.0%）、「ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと」（56.5%）となっている。



問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）
 （新規設問）

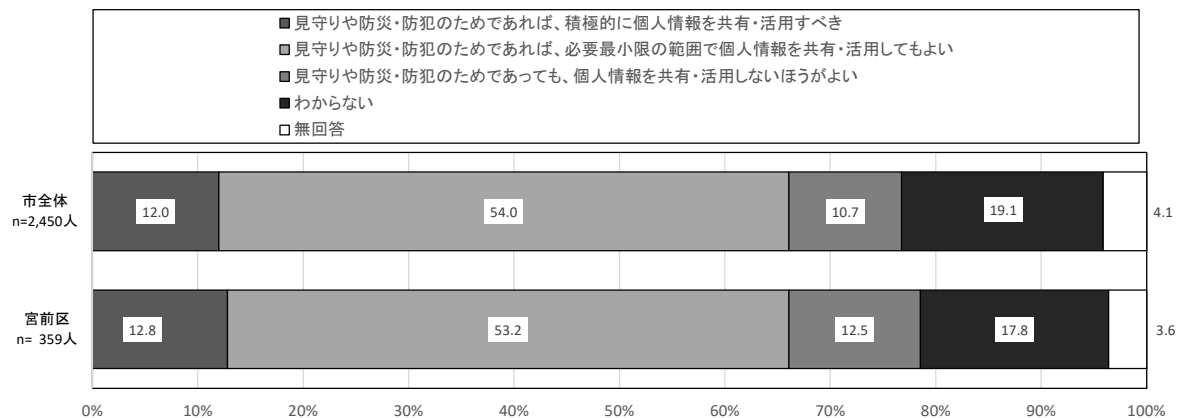
宮前区では、「土砂災害ハザードマップ」の割合が48.2%で最も高く、次いで「川崎市防災マップ」（37.9%）、「すべて知らない」（25.3%）となっている。



問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。

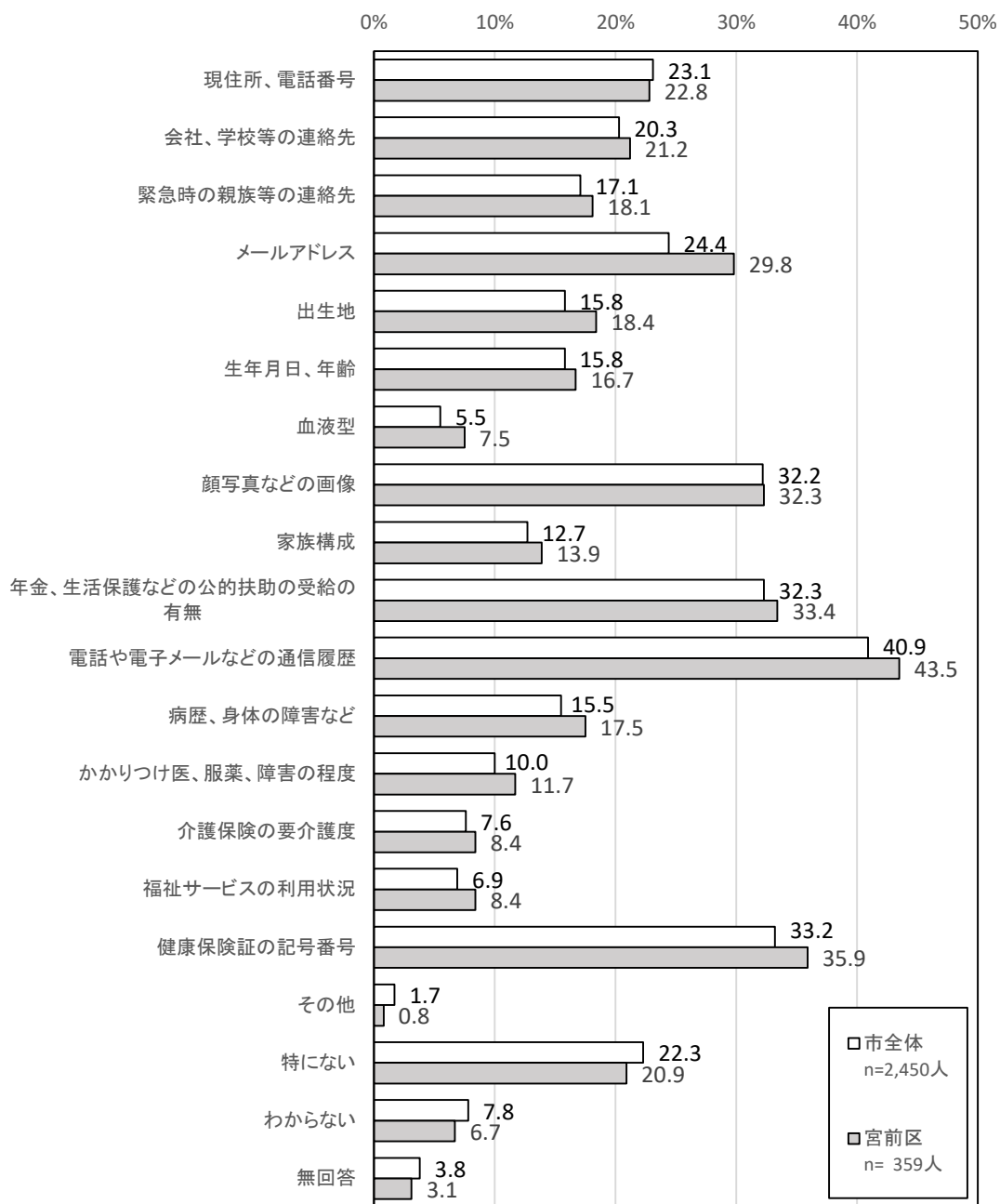
(○は1つだけ)

宮前区では、「見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」、「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の合計が66.0%となっている。



問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

宮前区では、「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が43.5%で最も高く、次いで「健康保険証の記号番号」(35.9%)、「年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無」(33.4%)となっており、いずれも市全体を上回っている。

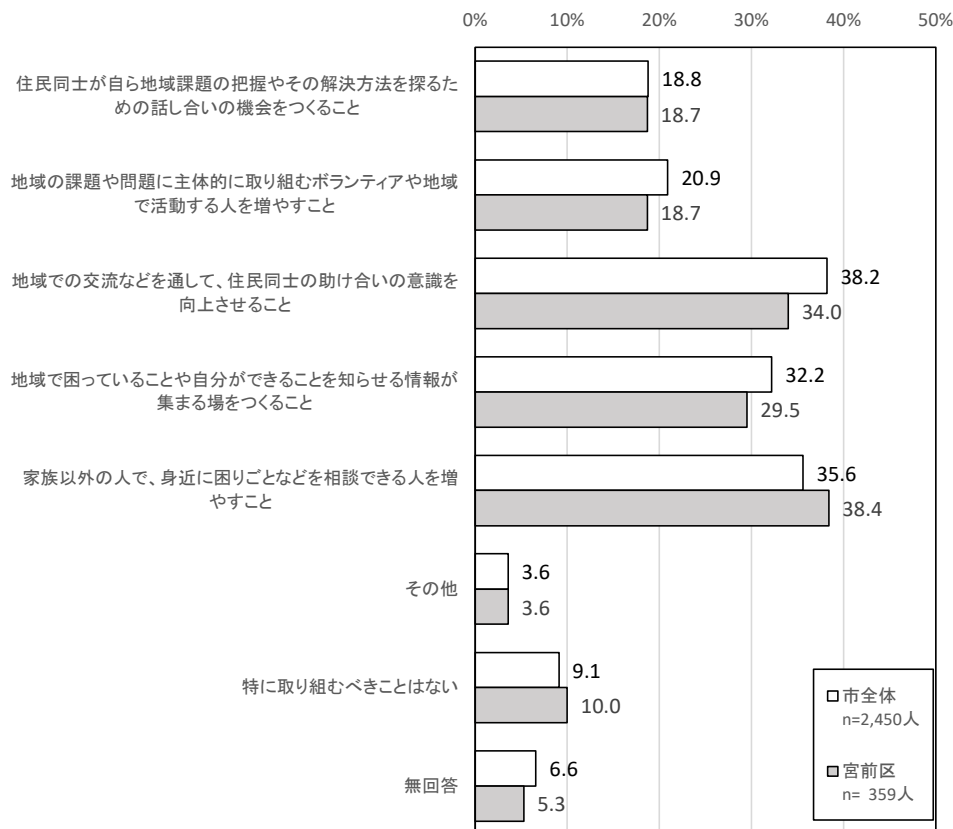


7. 今後の地域福祉の推進について

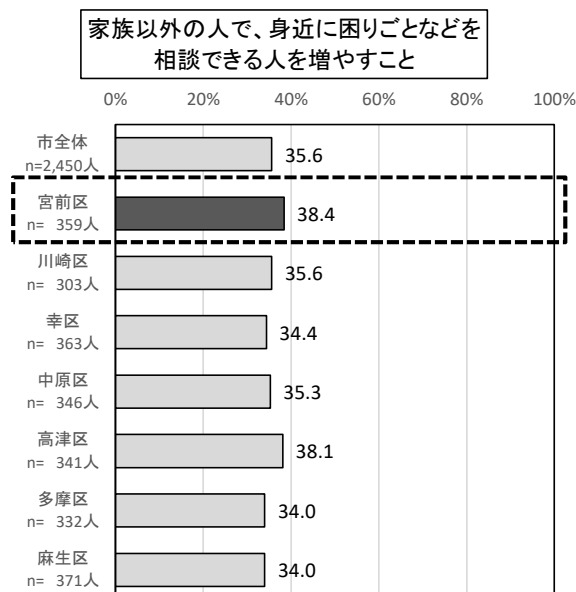
問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

宮前区では、「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」の割合が38.4%で最も高く、次いで「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」（34.0%）、「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」（29.5%）となっている。

市内6区と比較すると、「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」については、38.4%と最も高くなっている。



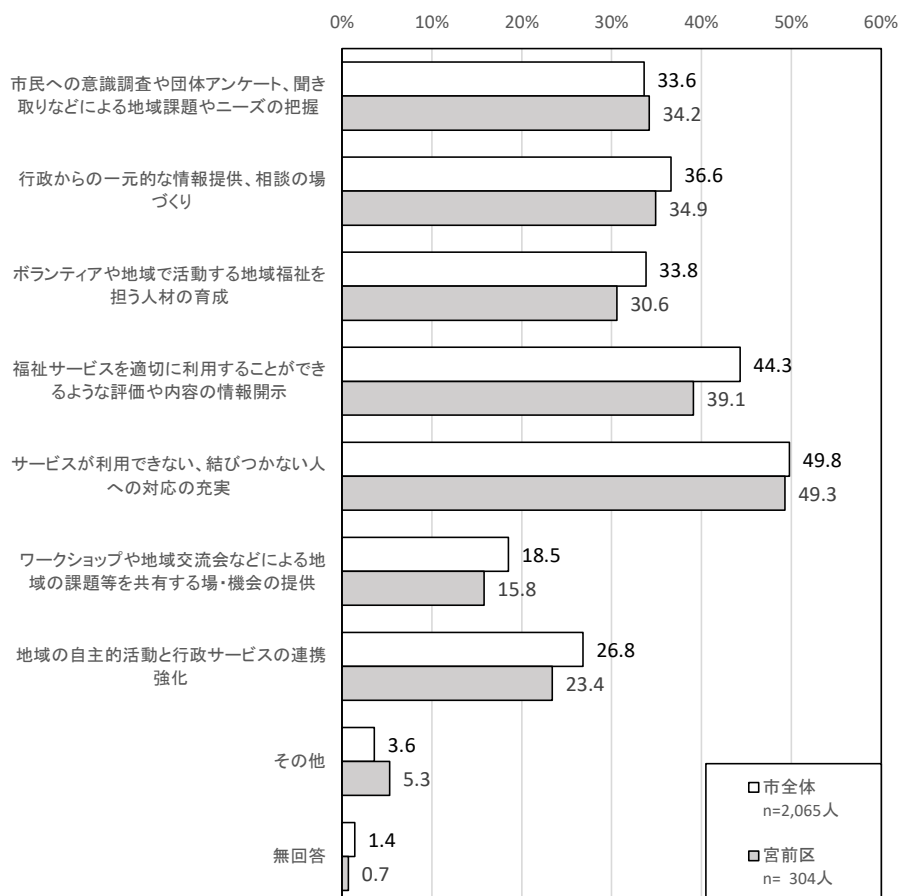
【参考】



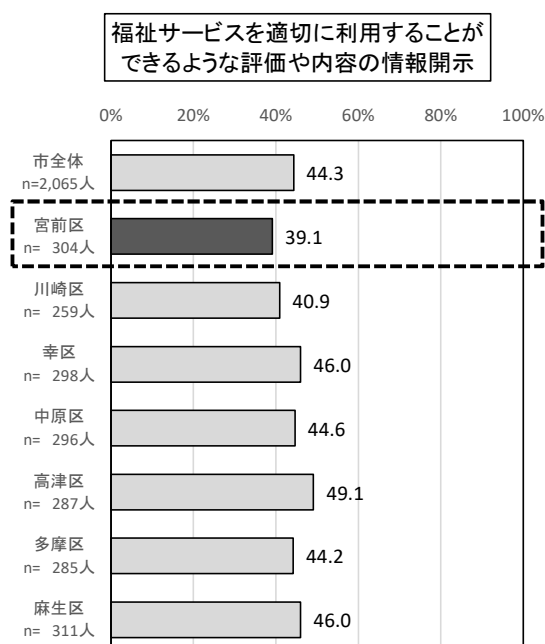
問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

宮前区では、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」の割合が49.3%で最も高く、次いで「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」（39.1%）、「行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり」（34.9%）となっている。

市内6区と比較すると、「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」については39.1%で最も低くなっている。



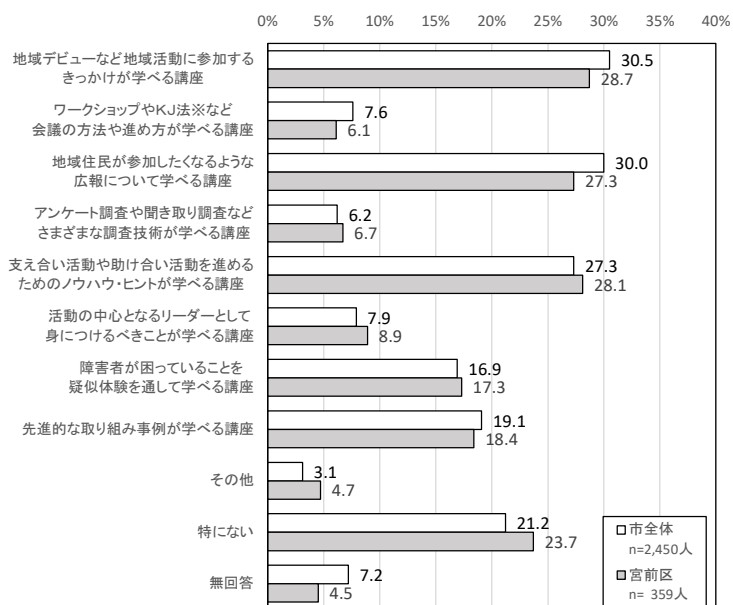
【参考】



問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

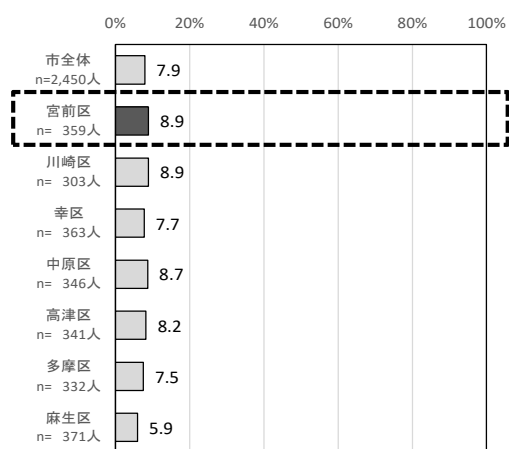
宮前区では、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」が28.1%で市全体（27.3%）を上回っている。

市内6区と比較すると、「活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座」は8.9%と川崎区とともに最も高く、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」は28.1%と3番目に高くなっている。また、「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」は27.3%と2番目に低くなっている。

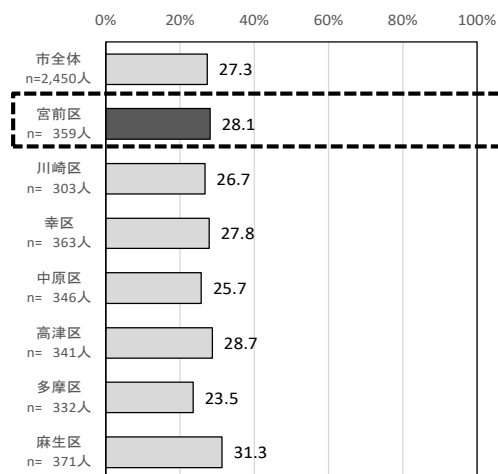


【参考】

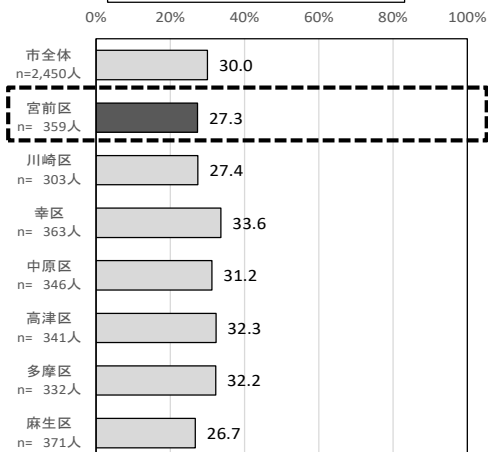
活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座



支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座



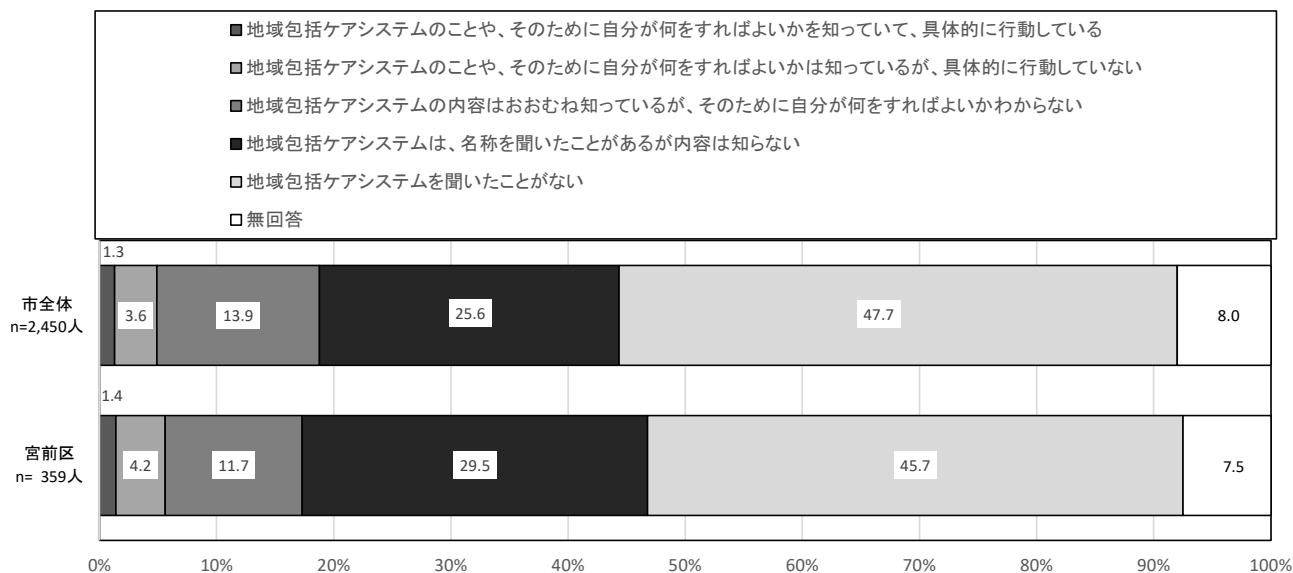
地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座



問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。

(○は1つだけ)

宮前区では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が45.7%で最も高く、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(29.5%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」(11.7%)となっている。

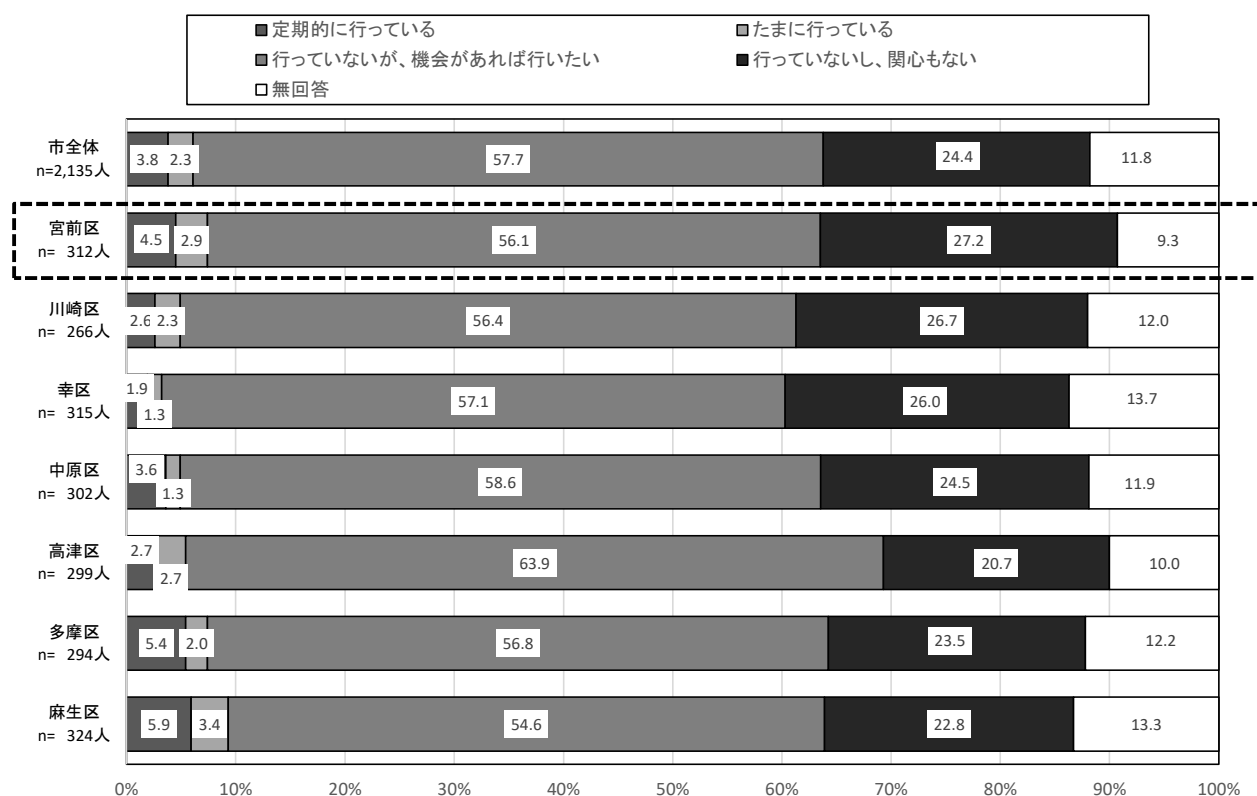


問 44 - 1 《問 44 で「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」にお答えの方》

地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかり行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。

(○は1つだけ)

宮前区では、「定期的に行っている」「たまに行っている」の割合の合計が7.4%で市全体(6.1%)を上回っている。市内6区と比較すると、「定期的に行っている」、「たまに行っている」の割合の合計は多摩区とともに2番目に高くなっている。また、「行っていないし、関心もない」の割合は27.2%で最も高くなっている。



8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます

(1) 地域で問題になっていること

地域で問題になっていることとしてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 地域で問題になっていること

意見の内容	件数
1. 子どもに関する問題	9
2. 地域防犯・防災に関する問題	11
3. 高齢者に関する問題	25
4. 地域のつながりに関する問題	22
5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題	7
6. 障害児・者に関する問題	5
7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題	4
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題	2
9. 健康づくりに関する問題	1
10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題	0
11. その他	7

1. 子どもに関する問題（9件）

区役所管内

	内容
1	子育てで保育園に入れるかどうか不安。子供をあずけることへの不安。(2件)
2	小さい子どもが一人で留守番している家が近くにある（泣き声がするときもある）。
3	子育て支援の所得制限（医療費、子供手当）により、本当はもっと子どもを生みたいが、教育費やその他のお金の不安であきらめざるをえない。・図書館が少ない。道路がガタガタで危険を感じる。川崎市民でよかったと思える点がほぼない。税金がどこに使われているのか。納得感が得られない。
4	人口増加を感じるが、そこにバス、電車、交通などのインフラがおいついていない。子育てしやすいとは言えない。ベビーシッターや一時保育などもっと使いやすく支援すべき。
5	学区が全く整理されていない（遠くの学校に行かせるケースが多く見受けられる）越境面接は不要！
6	共働きが増えているので小学生の子育て支援。

向丘出張所管内

	内容
1	保育園に入れにくい、入りにくい知人がいる。
2	子どもの遊び場（公園）が少ない。
3	難しいとは思いますが、地域の小学校の様子などを、就学前にもっと知ることができたら、入学時の不安が解消されるのになぁと思います。

2. 地域防犯・防災に関する問題（11件）

区役所管内

	内容
1	交通事故。
2	小学校前の道路、夜間のバイクの騒音。
3	歩道がせまく歩きにくい。すれちがいがこわい。トンネル内の歩道はなるべくさけている。
4	5に当てはまるか、分かりませんが、ゴミのポイ捨てや、タバコのポイ捨てが多く、気になります。
5	悪人が増えているのに、防犯対策が出来ていない。
6	地上げ屋が出没している。
7	防災訓練への参加者が少ない。
8	災害の時、避難場所が狭いような気がする（体育館）。ペット連れの方々のフォローもしっかりできるようになることを希望します。
9	不用品購入や建物修理などの勧誘で、高齢者世帯を巡回しており、中には不良業者と思われる例がある。

向丘出張所管内

	内容
1	空き家が目立つようになっていること。
2	昔にくらべて近所付き合いがなくなった事が防犯面にも影響して不安だ。

3. 高齢者に関する問題（25件）

区役所管内

	内容
1	高齢者（65歳以上）の方がたくさんいて、一人暮らしの高齢者が、足が不自由で病院に行けないとか、認知症があり、病院が休みの日に病院に行こうとする姿を見たことがある（2件）。団地に住んでいるので、介護施設へ行ける費用がないという家庭が身の回りに山ほどある。
2	老人が多すぎるのに、老人にばかり手厚い支援があるのは納得がいかない。ストレスが多い社会なので、発散できる場所やアドバイスがほしい。
3	倫理感・マナーの悪い高齢者がとても多いこと。
4	高低差のある地域のため、高齢になった際に利用できるタクシー、コミュニティバス等の交通手段が欲しい。
5	私が川崎市高津区、親が横浜市（ちなみに入院中の親の病院は川崎市内）、インフルエンザワクチンも区外だと言われて親の介護で大変なのに、書類のやりとり介護サービスも市外と言われ受けられない。高齢でボケてきている。引っ越しもいやがるし、家もいまさら動かさない。遠くないとはいえ大変。同じ神奈川県なのだからもう少し臨機応変にしてほしい。
6	高齢者は困ったことがあっても自ら行動しないと援助がないこと（役所等に相談できること自体を知らないなど）。
7	マンション内に認知症のような方がいる。
8	一人暮らしをしている擁護の必要な高齢者が、近所にいるなら知っておきたい。出来る限りの見守りなど協力ができればしたい。
9	近隣に頼れる親近者がいない。高齢者の独り身生活。
10	一人暮らしの高齢者の孤独死があった。
11	高齢者と同居していて、集う場所や、ベンチなどが少ないので、談話できる場所があるとほげみになります。散歩コースとかあると良いと思う。
12	ご近所の高齢化。

13	高齢者の一人暮らしの方で病気を持っている友人がコロナになってしまった。実の子は地方にいたので、連絡を頼まれた。コロナなので入院に付き添えなかったが、保健所が搬送してくれたそうでとても安心出来た。港区在住の友人の場合です。
14	私の住んでいる団地は古く、五階建てエレベーターなしのマンモス団地です。4、5階に住んでいる高齢者が多く、ごみ出しも大変。買い物をした時には荷物を持って最上階へ上がる事が一苦勞です。又、一人住まいの方が多く何かあったら大変だと常に思っています。
15	バス停までが遠く、行動範囲が年をとると不便になる（2件）。選挙投票所までが遠すぎてそろそろ行けなくなりそう。交通手段の不便。もっと高齢になったとき買い物にいけるような足の確保がほしいと思う。巡回フリーバスなど・・・。
16	実際に、96才になる父が入院して退院してから、金銭の問題などから1人で面倒をみることになり、月に2回の訪問診療、1回のケアマネージャーの相談など、一日一回、1人で毎日を介護するしかない？と思い暮らしていますが、時にはストレスも感じています。
17	高齢者に対しての見守りとかが行政では全くない（年1回警察から安否の調査はある）。

向丘出張所管内

	内容
1	高齢者の為の社会構築、金の貯め込み、経済の停滞。選挙に行ったところで高齢者向けの政策にしかない。数の暴力。
2	菅生は駅がなく、バスでの移動が必須である。そのバスも宮前区役所に行くバスの本数はかなり少ない。バスでの移動ならば多摩区役所や高津区役所の方が利便性が高い。同じ宮前区でも鷺沼駅前に移転した区役所はより不便になり、自分がこれから高齢者になったときが不安。
3	高齢独居世帯の孤立、孤独死問題→民生委員の訪問も拒否されると聞いたことがある。中年世代の孤立（単身者の独死があった）→病気で動けなくなり、そのままというケースがあった。
4	私の住むマンションは高齢者の一人暮らしが多いです。人と交流することを好まない人もいますので、安否確認が難しいです（2件）。普段仕事で日昼いないとなおさらです。
5	歩道が改修されて高齢者にとって歩きにくくなってしまい危険です。
6	近隣に、古い団地があり、高齢者が多く、ふらふら歩いている道路の危険横断（車が来ているにもかかわらず平気で渡る。車が止まってくれると思っている）などが横行し、危ない。古い団地の建て替えが多い、工事の音が朝～夕までうるさい。うるさすぎる。窓を開けられない。高齢者の方が傍若無人地帯だと思う。
7	生活から出る生ごみを火力を使って処理していること。一人暮らしの高齢者が孤立してしまうこと。家族と同居している高齢者でも孤立してしまっていることがある。
8	特に高齢者はコミュニティが少ない為、情報等も少なくなりがちです。

4. 地域のつながりに関する問題（22件）

区役所管内

	内容
1	あいさつもそっけなく返されることがあり、少し悲しい。
2	新築のマンション（100世帯ぐらい）に去年引越してきたが、入居のあいさつ以後、交流が全くないので、誰が住人であるかよくわからない。
3	人が多くて認知しにくい。共働きが多い。核家族が多い。
4	交流の機会がない。区が企画するものは平日が多く、働く側からすれば、無理が多すぎる。子どものことを考えれば幅広い年齢での交流をさせたいが現状では無理です。
5	住んでいるが、あまり人との交流、つながりはなく地域の課題事を知ることなどあまりないこと。
6	以前住んでいた静岡県御殿場市は地区の行事や清掃活動を通じてご近所との交流の機会があったが、今はマンションだからかそのような機会が無い。煩わしくない反面、防犯や災害時の助けあいの面で不安。
7	特にマンション借家なので、あいさつしない隣人関係が希薄。（2件）
8	当初は交流しようと思っていましたが、こちらの地域の方々が、それをお望みでないように感じます。手助けを申し出ましたが数回断られました。また、車椅子を自力で動かせなくなった年配の方をご自宅までお送りしたら、ご家族の方に嫌な顔をされました。
9	コロナもあり、転居されてきても対面でのあいさつが無いので、どなたが住まわれているかわからなかったり、個人情報に気にされてか表札が出ていなくて回覧をスムーズに回せない。
10	地域とのつながりのきっかけがない。
11	居住35年、背中合せの住宅に新規入居しても、あいさつが無い！自営業であるが、他の町内会は、つきあいがあるが、35年たってもなじみが無い。町内会、寺、社、に対しても、若人（息子等）いるが、青年団、消防団へのさそいが無い（人員不足のはず）。新住民（35年）に対しても、他人扱いなの？先住民は？地元民になるには100年かかるのか？
12	挨拶をしない人が同じマンション内でも増えている。助け合いをするにはまず挨拶からだと思う。
13	地域の中での活動で参加する人が少ない。
14	歩いて行ける気軽なサロンみたいな所がほしい。

向丘出張所管内

	内容
1	町内会行事の中止（新型コロナウイルスの影響）。
2	自分自身、親に全てを任せている（地域交流に関して）ため、問題があるかも分からない。
3	コロナ禍でコミュニティが狭くなった。
4	引越してきたので、自治会活動が活発でした。現在はマンション住まいなので、近所付き合いが希薄になりがちです。
5	子どもの身守りなど、マンションにどんな人々が暮らしているか、昔は名簿や号室にどのような人が住んでいるかわかったが、現在では個人情報、すべてをはばみ、表札すら出ないため交流の仕様が無いと思う。なのでマンション内でもこのあり様で、自治会には入ってみたが、全く交流なんて出来ないと思う。
6	コロナ感染の為、会話にゆとりが持てない。
7	コロナの影響もあるのですが隣近所、亡くなってもだれも教えてくれないし、話もしない。

5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題（7件）

区役所管内

	内容
1	留守がちな家に現在おきている事などの情報などを伝えてあげたい。近隣の事件、事故などちょっとした事でも。
2	地域情報が発信されていないので周り何をしているか不明。地域活動、団体があるのも分からない。
3	突発的な事態に至った時の連絡先（行政等）、救援方策の処置。

向丘出張所管内

	内容
1	地域福祉計画があることなど地域の情報についてもっと広めてほしい。調べなくても分かるようになればいいと思う。
2	積極的に調べたり情報収集したりする人は色々知っている。でも、時間がない人などは、難しい。例えば、「困った時はココ」にとりあえずアクセスしたらいいみたいなのが1つあればわかりやすいのかな。自分の問題にあてはまることを選んでいくと、相談機関（どこに相談したらいいかとか）わかるとか・・・？既にあつて知らないだけだったら申し訳ありません。
3	自分から自治体のHPを見に行く、などしないと情報を得ることができない。
4	緊急な事が起った時に知らない、知らせがないのが不安。

6. 障害児・者に関する問題（5件）

区役所管内

	内容
1	高齢者や障害者（車椅子など）が通りやすい幅の道が少ない。
2	障害者の事をあまり知らない方がいる。
3	障害の子がいるが、福祉避難所にすぐに行けるようにしてほしい。電源必須。

向丘出張所管内

	内容
1	療育の事業所の待ちが半年以上。買い物する場所が少ない。
2	道（特に歩道）が高齢者や障害者に対して優しくないと思われる。段差、広さ、点字ブロック等がもっと発達するとよいと考える。

7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題（4件）

区役所管内

	内容
1	年齢のせいもありますが、仕事の援助はよくして下さりますが、レクリエーション活動や文化活動など（スポーツ活動）などの援助や機会が全くありません。ぼくの友人も週5毎日仕事行ってます。「仕事だけしてればいいんだろな」と不満げでした。
2	宮前区内の少女ソフトボールチームが複数あるが、大会などの場所が小学校の校庭開放を利用するしかなく、大会のグラウンド探しに苦労していた。
3	公民館等が無い。
4	団地の中に買い物出来る所が欲しい。坂道が多いので歩いて買い物出来る店。

8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題（2件）

向丘出張所管内

	内容
1	働く女性が増える一方で、子育てに関する支援や相談（気軽に）できる窓口が少なく、孤独を感じる女性が多い。母親だけの負担がまだまだ多く、地域で子育てできるような取組が必要。利用手続きに時間がかかったり、使いたい時に支援を受けられなかった。
2	特にないが、町内会、近所付き合いがなく有事の時に不明を感じる。

9. 健康づくりに関する問題（1件）

区役所管内

	内容
1	健康寿命をのばすための活動拠点が近くにない。

10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題（0件）

11. その他（7件）

区役所管内

	内容
1	最寄り駅では買いたいものが揃わない。
2	マンション建設に伴い既存建物の取り壊しをしているが、その作業による揺れがひどく日常生活に支障をきたしている。
3	迷惑な人がいる。
4	自分のことです。
5	市政だよりや町内会報など、真剣に読んでいない。読み流すだけです。

向丘出張所管内

	内容
1	具体的には直面していないので判らない。
2	特に身近な例はありません。

(2) 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由としてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

意見の内容	件数
1. 自分自身や子どものため	6
2. 地域交流のため	10
3. 社会貢献のため	9
4. 健康維持のため	6
5. 時間に余裕があるから	1
6. 身近に関心・興味があるから	8
7. 仕事をしていた或いは資格があるから	4
8. 街の美化のため	2
9. 時間に余裕がなく、できない	3
10. 病気・高齢だからできない	2
11. 参加する気はあるが方法がわからない	2
12. その他	16

1. 自分自身や子どものため（6件）

区役所管内

	内容
1	自身のスキルを役立てたいため。
2	生きがいを持って、充実した生活を送りたい。自分も、世の中の役に立ちたい。人の役に立ちたい。
3	今後の人生で役立つ機会が多そうだから。
4	自分がやりたいと思っている。
5	自分自身も学ぶことができるから。
6	楽しめるので。

2. 地域交流のため（10件）

区役所管内

	内容
1	子どもと関わるのが好きだから。
2	お互いに生活しやすい、向上するのであれば、参加してみたい。
3	日本人は自分の恵まれている環境を認識していない人が多く、メディア・TVはくだらない報道ばかりで、世界の真に困っている、恵まれていない人々のことを分かっていないから。こうすることで、日本人で不幸だと思っていた人々が、本当は恵まれていることに気が付くと思うから。
4	高齢化が進み、各自が自分の出来る事で社会を支える必要があると考えるため。
5	お年寄りの本当に困っておられる話を聴きたい。

向丘出張所管内

	内容
1	子ども達が喜びそうなので。お友達との交流の場だと思ったので。
2	自分のできることで人の役に立てたら嬉しい。自分も楽しく、みんなで楽しめたら嬉しいと思うから。
3	参加するのみで、その先につながらない。住民同士が仲良くなり同じ趣味などでつながる、同じ目的、志をもった人が集まりお互いを理解し合うことで、さらに活動も活発になり、活性化にもなると考えるため。
4	少しでも地域の役に立てればと思います。
5	今、まだからだは動くから活動できると思います。

3. 社会貢献のため（9件）

区役所管内

	内容
1	自分の得意なこと、興味のあることで他の人の役に立ちたい（3件）。役にたつことができるなら光栄だから。
2	少しでも社会貢献したいので。（3件）
3	スポーツ振興に貢献したい為。
4	自分にできることを社会にお返ししたい。参加することにより、自分の楽しい（有意義）。
5	地域に貢献するなら自分の得意分野を活かしたい。健康については今最も気になっている。
6	自分が好きなことが人の役に立てば、本望だから。
7	何か役に立てそうな事がありそうだから。
8	自分の出来る事で、人のお役に立てるなら貢献したいと思います。

向丘出張所管内

	内容
1	困っている方達、助けが必要な方達の手助けをしたい。

4. 健康維持のため（6件）

区役所管内

	内容
1	比較的期間が限られた活動で、体を使う活動が参加しやすいと思います。
2	コロナで家の中で過ごしていました。もともと運動嫌いもあったので、外出しないということは苦ではなかったです。ですが今年になり足の痛みが出て、歩行時に足が痛みで歩行不可になると半年前から運動をはじめました。今週より痛みもなくなり、歩行も楽になりました。家にとじこもる事は良くないです。人と交流をもち、運動をし、体を動かす事が大事だとつくづく思いました。
3	歩くことが健康づくりの基本と実感している。ウォーキングの良さを多くの人に教えたい。なんでもいいから歩きなさい。歩け、歩けです。
4	自分の健康維持のため。手軽に参加できるため。
5	ポールウォーキングで体力維持に努めている。楽器の演奏がしたい。PCでネットサーフィン、Eメールをやっているの、オンラインのイベントに参加してみたい。

向丘出張所管内

	内容
1	今、まだからだは動くから活動できると思います。

5. 時間に余裕があるから（1件）

区役所管内

	内容
1	時間の融通が効きそうなので。

6. 身近で関心・興味があるから（8件）

区役所管内

	内容
1	ダンスが好きだから、関連することでおもしろそうならやってみたい。
2	多くの情報を必要としているため。
3	楽しそうだから。気軽にできそうだから。
4	お祭り、スポーツイベントに興味がある為。
5	取組みに参加し易いのでは？と感ずるため。
6	自分のライフスタイルの中で、できそうな活動だから。（3件）

向丘出張所管内

	内容
1	これから身体の衰えが確かになる為その手助けを見たい。
2	楽しそうだから。準備を含めても短期間で終われそうだから。

7. 仕事をしてきた或いは資格があるから（4件）

区役所管内

	内容
1	介護に対する知識（経験）が多少あるし、自分自身も寝込まないように。
2	稼ぎ先が自営業だったので20年近く独身時代の資格を生かした仕事をしてきませんでしたが、活かせるのであれば、自分のもっている資格を社会に役立てたいと思っています。
3	洋裁関係の仕事をして来ました。それを活かせる活動ならまだ少しは出来るかな…？と思います。

向丘出張所管内

	内容
1	職業上高齢者と接する機会が多いため、何か役立てるかもしれないと思ったから。

8. 街の美化のため（2件）

区役所管内

	内容
1	美化活動が好きだから。

向丘出張所管内

	内容
1	環境がキレイな方が心に余裕ができる。

9. 時間に余裕がなく、できない（3件）

区役所管内

	内容
1	フルタイムで働いて子育て中なので→14 近くに頼れる人がいない子育ては大変なので→4 おもしろそうなので→8
2	現在、夫の介護をしている為、自分の時間が持てない。自由になるのは週1回のデイサービスに行っている時だけで、活動をするのは不可能。

向丘出張所管内

	内容
1	子育てと仕事で、活動する時間や余裕がない。

10. 病気・高齢だからできない（2件）

区役所管内

	内容
1	高齢で、活動は出来ない。若い時は、自治会活動等やった。
2	90 才になりました。長い間ボランティアに参加していましたが、体力や健康に自信が持てないため、参加を考えていない。

11. 参加する気はあるが方法がわからない（2件）

区役所管内

	内容
1	自分の性格にあうかどうか分からない。

向丘出張所管内

	内容
1	近い将来、仕事を辞める予定で、時間が出来たら何かしたいと考えている。

12. その他（16件）

区役所管内

	内容
1	生活習慣病がふえているから。
2	自分に何が求められているのか、何がムリなくできるのかをまた考えたことがない為。
3	コロナ禍になり、知らない人との交流が面倒になった。
4	考えた事がない。
5	現在子どもが大卒自立していき義母や義兄は3年前に他界。人が生まれて亡くなるまで、国の制度で見守られていたこと、それらは時代によってより良く変わっていかなければならないことなど、その時々で感謝したり少々不都合を感じたりしながら私自身、制度やサービスを「あたりまえ」ととらえるのでは、もったいないと思ったりします。
6	地域活動がほとんどないし付き合いもないのに参加してもしようがない。
7	数年おきに班長がまわって来るので。
8	今後地球温暖化なるのを防ぎたい。
9	開かれた町内会はほど遠い！せめて近所の公園だけでも！
10	無理にやるものではなく、自分のできる範囲の活動が長つづきするから。
11	就業を終えて、時間的に余裕が出来たら活動に参加したい。
12	自分の性格にあうかどうか分からない。

向丘出張所管内

	内容
1	ボランティアに興味がない。
2	老人施設等で音楽を楽しむ時間を持つ。
3	気を使わずに1人でも気軽に簡単に始めることができそう。
4	自治会の会員であるから。

(3) 『地域包括ケアシステム』の取組等に対する意見・要望

『地域包括ケアシステム』の取組等に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	13
2. 市への意見・要望について	12
3. 地域住民とのつながりについて	2
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	5
5. 今自分がやれることがない	1
6. 健康について	3
7. 取組の提案について	3
8. 取組への期待について	2
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	1
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	1
13. 医療について	0
14. その他	2

1. 取組の周知について（13件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24歳	地域包括ケアシステムでは、一人ひとりに期待される行動があるなんて知らなかった。もっと広く周知させないと担当の人ばかりが負担を強いられると思う。
2	25～29歳	利用対象者には、わかりやすい案内を届けるべき。
3	40～44歳	全く福祉行政について考えたことがなかった。今は関心がないが、高齢になったとき、このような取組みで安心して過ごせるようになると思う。関心がないと情報が入って来にくい、若い人にも伝わると地域への愛着、不安解消にもなるのかと思いました。
4	40～44歳	知って欲しいのであれば、もっと上手にPRすべき。
5	50～54歳	名前はなんとなくきいた事があるが、具体的にどのような活動をしているのか等よくわかりません。
6	55～59歳	義務教育（小、中）段階から親・子に認識させる時間と機会をつくる取り組みが必要。
7	70～74歳	まず「知る」ことが大事だと思いました。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	35～39歳	地域での体感などが必要なものわかっているのだけど、輪の中に入るのに勇気があります。その地域ではどんな活動をしているのか、何をして当然なのかの情報を事前に手に入れられないと感じています。新参者が入手できる情報をリストアップされるなりして公開してもらえると助かります。
2	45～49歳	川崎市で取り組んでいる「地域包括ケアシステム」を初めて知りました。とても良い取組だと思います。様々な年齢、分野で助けを求めている人がたくさんいると思います。何かあった時にすぐ相談できる窓口があることはありがたいです。

		ただ私のように知らない人も多くいると思いますので、手間ですがチラシ等で取り上げてもらえると良いかなと思います。いろんなテーマがあるとなかなか目を通さないで「地域包括ケアシステム」だけを取り上げたものがあると良いかと思ひます。
3	45～49 歳	川崎市は全国に先駆けて育児、障害、高齢の3分野を横断的に支える仕組みを構築したと言う点で、評価できると思いますが、具体的に何をすべきか、何が出来るのかが市民に伝わりきれていないのが残念です。広報の工夫が必要だと思ひます。
4	55～59 歳	防災、防犯、安全は大切な事。小規模単位でいかに取組むかが大切で、市が決める事は大事だが、その取組が一部の方の満足で終わってしまっている感がする。もっと情報発信ツールを増やして市民に理解してもらい、少しでもその取組が、地域を更に小さくした町内会、丁目毎などあるいは、隣近所などの小集団で活動出来る事を期待しています。
5	60～64 歳	初めて聞いた言葉でした！
6	65～69 歳	とても大事なシステムだと思うのですが、具体的にどのような活動をどんな方達がしてらっしゃるか全然わからないので、広報等何でもいいのでわかりやすい説明があればいいなと思ひます。

2. 市への意見・要望について（12件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	私は団地に住んでいて、高齢者の方ばかりが住んでいるので、こういった団地や、高齢者がたくさん住んでいるだろうと思われる集合住宅には、積極的に来ていただけたら、困っている高齢者の方は救われると思ひます。一意見ですが検討をお願い致します。
2	20～24 歳	税金を減らしてほしい（システムが充実するのと引きかえに増税されたくない）。
3	30～34 歳	取組自体は悪くないが、市民同士の助け合い、支え合いに頼る（無償）ことを積極的に行政が推進するのはいかがなものか。特に若い共働き世帯は、ただでさえ仕事以外の可処分時間が短い中で、このような役割まで背負わされるのは負担が高すぎると感じる。今一度、税金の使途をしっかりと見直し、公助を前提とした取組を行ってほしい。
4	30～34 歳	もっと他事業所（他業種）が連携を深めることが大事。又、介護情報などもっと簡単に情報収集が行えることが必要。
5	30～34 歳	紙でのアンケートを止めるべき。集計にかかる人件費など無駄なコストが多い。積極的に IT 化を進めるべき。
6	35～39 歳	このアンケートを全て手書きで回答させ、回収後手打ちでデータ化しているような自治体に効果的なデータ活用が出来るとは思えません。もちろん、紙でしか回答出来ない人もいますが、50代以下であればスマートフォンで二次元コード読みこんで回答頂き、データ化出来るはずでず。また、このアンケートの回答率にもよりますが、アナログな対応をする方の意見を元に作られた政策は夫婦共働き（フルタイム）が当たり前の20-40代には適しているかは疑問でず。限りある税金が、このアンケートの集計のデータ入力に使われるのが、本当に理解できません。
7	50～54 歳	自分から行政へ相談する事が出来ない（相談する場所がわからない）方へは、とりこぼしになるのではないかと思ひます。地域単位の地域包括ケアでずから、ある程度の個人情報の共有はすべきだと思ひます。せめて、引きこもり、障害者の把握はすべきだと思われず。

8	65～69 歳	以前住んでいた町は、町内会活動で子どもが中学校になるまでいろんな活動をしていたので、生まれ育ったという安心感がありました。祭りごと、少年少女の子ども会、老人会、シルバー会等、数々の集まりがありました。助け合いの必然性もわかりましたが、途中で移っていた今の町は気軽さがありますが、もの足りなさも感じます。高齢化になった時の不安さがあります。市の広報、自治会の PR は重要かと思えます。
---	---------	--

向丘出張所管内

	年代	内容
1	55～59 歳	80 歳の高齢者（母）と同居しています。インターネットはできません。情報収集は紙です。高齢者への案内書面は文字を大きくゴシック体で作成をお願いします。こういったシステムはありがたいのですが高齢者が取り残されないようにしていきたいです。またゆくゆくは自分ごとにもなるので何ができるのかしっかり把握したいです。
2	55～59 歳	介護保険で受けられる様々なサービスの手続き、更新等、土・日でもできるシステムを作るべき。自分で行ける事が出来ないのです。オンライン活用もすべき。自分の家族（夫）は仕事をしているので、休みが日曜日しかなく、手続きの為、休みをとるが、公共機関、とくに警察署は不親切きわまりない。
3	65～69 歳	家族が、介護が必要になり、色々な制度があることにびっくりしました。ボーンとわからないままにするとすごく損をすることも身を持って体験しました。しかし、これは事前に勉強することは皆さんしないかと、高齢になればまたそれを理解する力や行動する（色々な手続き区役所での）こともできないと思います。子ども等のいない老人には、役所がマンツーマンになりやってあげないと無理かとすごく思いました。
4	75 歳以上	担当者の不正をどうチェックするのか。それを防ぐシステム（組織）作りが、どの様になされているかが決め手ですがその保証に不安をいただいています。例→“老人がいいようにだまされたり盗まれたりする”事への不安。

3. 地域住民とのつながりについて（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	55～59 歳	都内から転居して4年。なかなか地域になじめずに暮らしてます。今はまあまあ健康で働いているので、福祉についてや地域ボランティア等への関心が希薄です。
2	70～74 歳	35年も住んでいて、地域の商店会に誘われる事もなく、数年前町内会の当番役員になった時だけ行事に参加しました。今だに封鎖的で、新住民を受け入れない！古い新住民に聞いたら、200年早いと言われたそうです。先程も書きましたが、青年団、消防団、祭りの神輿かつぎも、人員不足なのに、誘いが無い、不思議ですね。以前、6年程住んでいた町内会とは今だにつきあいがあります。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（5件）

区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	とても心強く有難いシステムだと思います。先ずは一人一人が自身の健康寿命を意識するきっかけに上の世代の方々のお話しを聞ける機会があれば良いかと思ひます。
2	65～69 歳	現在 69 歳元気なので自分でも何かできることがあればと思ひますが何をしたいのか皆目わかりません。勉強不足なのでそのことを学ぶ機会があればと思ひます。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	何事にも当てはまりますが、関心がない人も積極的に取り組みたくなるような活動をして頂きたいです。自分自身も積極的に取り組めるようになりたいとは思ひています。
2	40～44 歳	具体的な取組内容がわからず、想像ができない為、自分に何ができるのかわかりません。現在子育て中の為、合間でできることがあればしたいが、情報収集（自分にできることなど探す）しやすい手段（広報誌にリストなど折りこむとか？）があると、検討しやすいのかな……。すみません。具体的に何をしたらいいかわからないことが、取組にくい参加しにくいです……。
3	55～59 歳	介護などまだ当事者でないからか、よく理解していません。必要になったとき、サービスがどのように提供されるのか、分かりやすい図とかで表わしてほしい。このような取組等は、どこで見れるのか知りたい。

5. 今日自分がやれることがない（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	自分が病氣中の為、気持はあっても行動に移せない。

6. 健康について（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	不明	健康が医者に相談しても体が良くならない。
2	55～59 歳	システムについてお勉強出来たこと、とても良かったです。たまたまでしょうがアンケートが届き感謝します。「自らの健康管理をしっかりと」というところが自らの生活の質を決めます。知人は生命保険（歩数を決められた量こなしたり、健康であることを提出したりすることで保険料が引き下げられる）で健康管理に精を出しています。高齢に近づくほど、人は健康で働いているだけでも国を支えていることに気づいてきます。同時に守られていることにも。
3	65～69 歳	いそがしさを理由に今までは気にもしてこなかったが、自分が高齢になり心配事が増すばかり。しっかり勉強し健康に気を付けて貢献できたら良いと思ひました。このアンケートはそういう事を気づかせてくれました。

7. 取組の提案について（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	高齢の両親がいるので、地域の方々、地域包括支援センターの方々にお世話になっています。その方々が、人数不足で大変忙しい思いをなさっていると聞き、なんとかもっと人数を増やし、頑張ってもらいたいと思います。
2	75 歳以上	核家族してしまった現社会では家族以外の支え合いの実現は中々困難だ。自分は高齢なので、次世代以降の人々が支え合う機運、風土を醸成するには、国難的危機等の突発時に起きる連帯感をきっかけに国等が先導し連帯、扶助の枠組を作っていくことが必要かも知れない（昭和の時代背景のように）。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	“家庭内の困った” が起こる前に地域包括ケアシステムの働きかけで、どのような相談にのってくれるのかなど、存在をアピールして欲しい。役所は人員不足なので、働き方改革の意味も兼ね学生アルバイト、パートを増やせば良いと思う。

8. 取組への期待について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	75 歳以上	地域包括センターの存在を知らなかったのですが子供が調べてくれて電話をしたら直ぐ来宅され、相談にのっていただいて、介護支援1をもらう事も出来ました。腰、足が痛むので、リハビリのデイサービスの送迎のある所に通っています。センターの事を皆知ると良いと思います。
2	75 歳以上	私自身、なるべく人の助けを求めず、一人で解決しようと思い、そうしてきました。今回、主人の老いが進み、自信が揺らいでいます。これからはケアシステムの取組について注視していきたいと思います。

9. 守秘義務について（0件）

10. 相談窓口について（1件）

向丘出張所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	市民のための包括相談窓口の開設。既存の窓口があれば積極周知、アナウンスをお願いしたい。デジタル化サービスの拡大、推進。

11. 地域防災・防犯について（0件）

12. サービスや手続きについて（1件）

向丘出張所管内

	年代	内容
1	75 歳以上	川崎じもと応援券、昨年は銀行で交換して利用出来たか本年申し込んでも合格したとの事（デジタル化？）とかで年寄りには全く出来ず（携帯から）手続き不満だらけだ。又バス券もパスネットとだき合せ、これは何だ？！だれが考えたのか年寄りは無理だ！事務には良いかもしれないがもう少し考えたら・・・。

13. 医療について（0件）

14. その他（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	参考にならない意見で申し訳ありません。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	わかりづらい。よくわからん。

(4) 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

『川崎市地域福祉計画』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	5
2. 市への意見	8
3. 地域住民とのつながりについて	4
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	4
5. 今自分がやれることはない	0
6. 健康について	3
7. 取組の提案について	13
8. 取組への期待について	2
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	2
11. 地域防犯・防災について	2
12. サービスや手続きについて	3
13. 医療について	1
14. その他	7

1. 取組の周知について（5件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24歳	私の勝手な一個人の意見なのですが、この2点の「計画」について、あまり存じてらっしゃらない方が多いのかと思います。なので、もっと大々的に市民の方に知ってもらうように、詳しく分かりやすく説明していける場所又は媒体を作っていけたら、救われる人は、1人でも多くなるのかなと思ってます。
2	50～54歳	ホームページから情報を得ることがほとんどなので調べやすいサイトにして欲しいです。質問にメールやラインなどで回答いただけると助かります。(電話だと聞きにくいことでもメールだと聞きやすいため。)
3	55～59歳	PRの方法、判りやすく興味をもてる方法で広めることを期待したい。
4	75歳以上	計画を作ることが目的になり、計画を知ってもらう行動していくが、遅れることがないように。行動、実施が目的になるように。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	55～59歳	その様な計画すら認知していない。知らせる努力をすべきでは？市や、区のネットにあがっているのか？あがっているなら告知しなさいよ。又は、わかりやすい市政チラシとか作成、配布してみても？自己満足で終わりそうな計画です。ご意見、ご提案とか、どんな上から目線ですか。計画を認知してもらう努力から始めるべき。このアンケートを袋返信封筒に入れる事すら困難なのにアンケートとか不快でしかない。

2. 市への意見（8件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	お年寄や体の不自由な人が歩きやすい、段差のない、広い道路が作られるように、他の省庁（？）に働きかけてもらいたい。歩けなくなって車イスで、デイケアセンターに向かう人たちは、車で送迎されているが、移動が大変そうだ。もっと広いスペースがあったらいいのと思う。
2	30～34 歳	障がい者が地域で過ごしやすい環境、グループホームの増設など！
3	30～34 歳	本アンケートの電子化を推進してください。（2件）
4	35～39 歳	川崎市の人口の2.8%が外国人かと思いますが「ルビ付きの調査票」しか用意しておらず、英語版がないということに驚きです。“誰もが”と言っているのに、その中に外国人の方が含まれていないということと理解しました。全てを自治体主導で行うには、ライフスタイルも価値観も多様化した今、限られた税金を行政の講座につぎこむのも、見守り活動という自由意思のようにみえて同調圧力で参加せざるを得ない状況も、今の時代に適していないと思います。都内の出産・育児への補助、保育園問題が解消されてきている中、このままでは川崎市に留まることも考え直したいと思い始めています。
5	65～69 歳	自分ができることがあればと思います。人の輪も大切ですが、たとえば車イスが使用しやすい道路づくりなどを働きかけることなどはこの計画に入るのでしょうか。
6	65～69 歳	交通手段の有無は高齢になると死活問題。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	高い社会保険料を長払い続け、制度そのものが、有効且つ十分に機能しているのか、過剰ではないのか。国、都道府県、市区町村、各レベルで同じような仕事をしているのではないかという危惧を持ちます。
2	75 歳以上	このアンケート自体が高齢者には答えるのが大変でした。実際本人は何問もの設問を読むのも億劫で家族が本人に聞きながら解答しました。必要性はわかりませんがどうにかならないものかなあとも思いました。（2件）

3. 地域住民とのつながりについて（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	都会ならではで、多種多様な人々が住み、周りへの関心は薄い、（特に子供がいなくて地域の関わりがもてないと思う）ボランティアの検索をしたことがある人は、いると思っている。（興味がないといいながら、私でさえ検索したことがあるから）うとい私でも気軽に情報にアクセスできるといい。ボランティア活動で、地域とのつながりがない人々も、まきこめるかとも思いました。
2	60～64 歳	あまり近所の人と話さないため、わからないし、今現在人と話をしない人が多いと感じますね。川崎の人たちがつめたい感じがします。大田区の人民と川崎の人民とは、全然ちがうと思います。もう少しアピールして社交ダンス、パソコン、そろばんとか有ればならいたいです。さがす方法おしえて下さい！
3	65～69 歳	老若男女が安心して住めるように色々取り組んで下さい。ご近所で支え合う地域づくりの活動に期待しています。
4	70～74 歳	アンケートの枚数が多い。地方から転入したので周りの人との接触がなく、少し働いているので余裕がない。付き合い方が浅いので、深い親交を求めている。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	機会があったら、私も参加したり、協力したりしたいです。
2	70～74 歳	認識不足のことが多々あったので、これからは少しずつ勉強していきたいと思えます。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	知らなかったので、ネットで調べて見ましたが、なんとなくわかったようなわからない・・・。どう受けとめたらいいかがわかりませんでした。そういう計画をしているんだな、ということはわかりましたが、市民に対して求められていることはあるのか？受け身というか他人事でいいのか？がわかりませんでした。良い街になったらいいな、という願いは持っています。色々考えて下さっていること、携わって色々活動して下さっている方々に感謝です。自分が勉強不足で申し訳なく思います。何かできることを具体的に提示して頂けたら、力になりたいし、支え合い助け合いになりたいと思っています。
2	55～59 歳	どの様な手段で情報を得れば良いかわからない。さまざまな福祉, 受けれる様になるには、どの様に行動すれば、ただ困っているだけでは、福祉等は、受ける事は出来ない、こーゆー時は、こーゆーのが受けられますよ、という情報を発信して欲しい。

5. 今自分がやれることはない（0件）

6. 健康について（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	健康は自分で頑張らなければ人任せ（病院任せ）は反省です。
2		年寄がいいことがほとんどないし、体がうまくコントロール出来ない。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	これはコロナワクチン1つでもそうです、ご老人が、ネットもできないのに、ネットが優先で予約がとれ、T e l の申込みは一日かけても話し中！！近くの医者予約一杯！！私が区役所へ行った日も、老人が今日うてないかと腰がまがって、つえついて来てましたがダメとことわられていました。キャンセルの1名もなかったのでしょうか？お気の毒で本当にかわいそうでした。こういう小さな一歩もできない様では、こんな計画は「夢」か机上の空論のように思えます。弱者にやさしい川崎市政を期待しています！！

7. 取組の提案について（13件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	住民一人一人の意識より、活力のある人を集める方が効果があると思います。
2	30～34 歳	認可保育園について。同じ保育園に通わせるのに、所得に応じて保育料に差を設けているのはおかしい。・何を目的にアンケートを取っているのかわからない。アンケートを取るだけでもコストが発生しているし、そもそも自分たちの活動として何をすべきかは、自分たちでまず考えるべき。積極的に IT 化を進めるべき。It 弱者といった言い訳もはや通用しない時代がすぐそこまできているので、全国的にデジタル化した上で、使えない人をフォローする施策を考えるべき。
3	40～44 歳	感覚的に、家族や近い人に、ケアや福祉的サービスを使う人がいない限り、また健康面に不安がなければ（必要と感じなければ）知ることや興味のない事と思われるのではないかと。（20～30 歳代の方は等に）40 歳代をターゲットにした（それ以上の年齢の方にも必要と思われるが、広報活動に力を注ぎ、広く知って貰う事が重要と思います。
4	50～54 歳	町内会、自治会などボランティア活動を積極的に引き張って下さる方々には本当に感謝致します。しかし地域住民の意見が合致する事はとても難しく、退会される方も少なくないです。私もいつか行政のサービスにはお世話になる事があるとは思いますが、地域の方々には？マークです。身体が不自由になった場合、買い物なども宅配にたのむだろうし、友人やご近所の方には遠慮してしまうと思うので、川崎市が人件費に予算を費やし各分野の橋渡しとなれる。地域福祉のプロを育てて欲しいです。（他1件）
6	70～74 歳	特養の増設
7	75 歳以上	体調のいい時は話し相手くらいはできそうです。ご近所でそんな機会があればお役に立てるような気がします。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	日本で口に出す“ボランティア”は立ち位置が曖昧。
2	45～49 歳	時代に合った取り組みが必要だと思います。地域福祉施設にはコミュニケーション能力の高い人材配置を希望します。
3	55～59 歳	あまり興味を持っていなかったもので、もっと知るようにならなくては、と思いました。区や市で行っていることが自分の暮らしに直接密接に結びついていると実感したことがあまりありません。区や市でお世話になることといたら、手続き（移転とか年金とか）やゴミ出しくらいで、このような暮らしに密着したしくみを計画していたとは…知らなくて恥ずかしいです。ご近所さんとの声かけやつきあいは大切だと感じつつもコミュニティの作り方は難しいと感じています。個人情報のあることあるし、人との距離感も人それぞれで違うし。でも何かできることを見つけて進んでいきたいです。こちらの計画への提案ですが、認知度を上げてほしいです。私ができることはマンションの理事会で出して知らせることくらいでしょうか。（それを継続してまたその先を考えるの繰り返しだと思います。）皆で話して考えたいです。

	年代	内容
4	55～59 歳	福祉についての憩い場が少ないと思います。地区によっては福祉を要介護でない為に孤立（孤独）で生活している人も多くいると思います。地区の枠を超えた取組、福祉施設への補助、新設等、川崎は「福祉」が充実していると市民に聞こえる、わかる様にして欲しいと思います。福田市長さんと名刺交換したり、現宮前区在中という事で期待しています。財政的に厳しいとは思いますが、地域の活性化＝福祉の強化に継がり、毎年発見される孤独死を撲滅して頂きたいです。
5	55～59 歳	福祉についての憩い場が少ないと思います。地区によっては福祉を要介護でない為に孤立（孤独）で生活している人も多くいると思います。地区の枠を超えた取組、福祉施設への補助、新設等、川崎は「福祉」が充実していると市民に聞こえる、わかる様にして欲しいと思います。福田市長さんと名刺交換したり、現宮前区在中という事で期待しています。財政的に厳しいとは思いますが、地域の活性化＝福祉の強化に継がり、毎年発見される孤独死を撲滅して頂きたいです。
6	65～69 歳	自分に出来る事で、困っている方達の助けになる事があればやりたいな、といつも思っているのですが、どうすればいいか分かりません。区や市で困っている方と助けたい方をマッチングできるようなシステムがあればいいと思います。

8. 取組への期待について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	福祉が充実することは大切なので、良いと思う。
2	70～74 歳	地域福祉の推進は地域にとって大変重要であり引続き行政の取組みをお願いしたい。

9. 守秘義務について（0件）

10. 相談窓口について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	福祉ではないかもしれないが、子どもの健診時において「私が子育てしてたころは」「心配なら自分で調べたら」など、”安心して”何か相談できる環境でない。上記の事柄だけではないが、子育て世代が区とかかわることがあるのは健診だけの様な気がするので安心して、頼りやすい、環境づくりをお願いしたい。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	近所づきあいが希薄になっている最近ですが、川崎市が様々なことに対して取り組んでいることがわかるとともに、窓口もたくさんあることが分かりました。今自分は家庭において特に心配ごとはありませんが、今後何かあった時に区役所や出張所に行き適切なアドバイスをいただけたらと考えます。川崎市の取り組みをもっと理解すべきであると感じました。

11. 地域防犯・防災について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	18・19歳	市や区の広報紙等を読む機会があまり無く、最新の情報を入手できていないのだと感じた。情報入手のために若者へは分かりやすさ&目を引くデザイン、高齢の方々へは大きな文字で明瞭なデザインで周知させていくことが必要だと考える。まだ成人したばかりの者だが、自分ごと化して福祉や災害時の対応について情報を得て考えたいと思う。
2	40～44歳	見直すべき点。①高齢者のモラル教育（本当にモラルレベルの低い高齢者が多い）②防犯強化（一つの町内に複数人の犯罪予備軍が存在していると思っているので、本気で取組むべし）③学区域の整理。（5分で通える小学校があるのに、30分かかる小学校に通うような区分けはナンセンス）

12. サービスや手続きについて（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	75歳以上	当面は個人が突発的事故、災害が発生した際は行政の窓口（110番的）を一元化し、そして地域の各援助機関に公的資格等を附与して分担させる仕組みは取れないか。現状では近隣に相互扶助の経験、意識がうすい。（核家族化、IT、プライバシー、信用度）だから（個人→行政へ）。（各援助機関があつて、役割、機能が分かりづらく、決めかねる）。80～85才以上の高齢者には介護保険の初段階程度を自動的認定があつてもよいのではないか。（健常者は不利用。長期に支払っている感情）。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	45～49歳	自分というよりは、84歳の母（麻生区で一人暮らし）の今後のことを考えると、行政サービスで頼れるものはあるのか、実際、利用できるのかなど気になります。とりあえず、「何を」「どの位の価格で」利用できるのか、という情報が、簡単に分かるサイトなどあれば、有難いです。また、民間とも積極的に提携して頂けると、さらに利用しやすくなるような気がします。
2	60～64歳	現役を引退した、おおむね70才以上の高齢者のうち元気な方々のより（今まで以上に）有用で積極的な活用。元気な高齢者は、「サービスを受ける側」ではなく、「サービスを提供する側」に今まで以上に回るべきであり、活用されるべきものとする。そうしたことにより当人の健康にもプラスに寄与すると考える。そのためにより具体的な活用方法を今まで以上に、しっかりと積極的に構築するべきと考える。

13. 医療について（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	75歳以上	宮前区の最北部（多摩区隣接）に聖マリア病院があるだけで、大病院が事実上宮前区には無いに等しい状況である。聖マリアへ行くのにバスで朝は30分かかると状態で混雑しています（道路及び病院）。駅前近辺に土地を強制収用して、市立病院を建設して下さい。市民の健康は福祉計画の第一歩です。中原区の井田病院は遠すぎます。バス便も少ない。（横浜市内の昭和大藤ヶ丘病院又は帝京溝口病院に行くようになります。昔と違い人口も増加しているので大都市川崎市ではお粗末な医療福祉を早急に考えて欲しい。

14. その他（7件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	特になしですが、そもそも興味が沸く内容ではないです。
2	50～54 歳	川崎市の日本国からの独立に反対します。
3	55～59 歳	間 43 へ⑨にマルをつけたので書いてあります。
4	60～64 歳	内容を十分理解していないので特になし。

向丘出張所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	なにがしたいのか遠回しすぎてよくわからん。助け合いをさせたいから、どうしましょうかってこと？
2	55～59 歳	国民（市民）一人一人に自主独立の精神を学ぶ機会を増して頂きたく思っています。よりよい国になりますよう。
3	60～64 歳	知らないことが多すぎて、何から知ればいいのかもわかりません。

資料

アンケート調査票

地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の18歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 川崎市長 福田 紀彦

【記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、最初から順番にお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
5. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月16日（金）**までにポストに投函してください。

※外国人の方で日本語を読むことが困難な方におかれましては、ルビ付きの調査票をご準備しておりますので、必要な方はご連絡ください。また、川崎市国際交流センターで相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当

電話番号：044-200-2626（直通）

FAX：044-200-3926

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp

【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、令和3年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり」を基本理念とする『第6期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取組と言えます。

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

1. 市の計画、区の計画の両方を知っている
2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている
3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている
4. 市の計画も区の計画も知らない ⇒問 13 へ

問 12-1 計画は何で知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 市政だより | 2. 市や区のホームページ |
| 3. チラシ・パンフレット | 4. 市や区の計画での取り組みに参加した |
| 5. 団体等の会合 | 6. 交流会・ワークショップ |
| 7. シンポジウム | 8. 講演・講習会 |
| 9. 口コミ（友人・知人や近隣の方からの） | |
| 10. その他（ | ） |

【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

1. 両隣
2. 向こう三軒両隣程度
3. 同じ集合住宅（アパート、マンションなど）
4. 歩いて5分（およそ100m）以内程度
5. 歩いて10分（およそ200m）以内程度
6. その他（

問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 身近でいつでも相談できるところがあること
2. 保健や福祉のサービスの利用料が低額であること
3. 保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること
4. 緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること
5. 利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること
6. 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること
7. 保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること
8. その他 ()
9. 特に何も必要だとは思わない

問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 同居している家族
2. 友人・知人
3. 離れて暮らしている家族
4. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）の職員
5. かかりつけの医療機関
6. 近所の人
7. 福祉施設やサービス提供事業所の職員
8. 地域包括支援センター等専門相談機関
9. 民生委員児童委員
10. 社会福祉協議会
11. 民間の相談機関（電話相談を含む）
12. インターネット
13. その他 ()
14. 相談する人はいるが、誰にも相談しない
15. 相談する人がいない

問 22 あなたには、友人と呼べる人がいますか。（○は1つだけ）

1. いる

2. いない

⇒問 23 へ

問 22-1 何人くらいいますか。

人

問 22-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。

(○は1つだけ)

1. いる

2. いない

問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（○は3つまで）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 社会福祉協議会 | 6. 地域の活動団体 |
| 7. NPO等の民間団体 | 8. 区役所・市役所 |
| 9. 地域の医療機関 | 10. ケアマネジャーやホームヘルパー等 |
| 11. その他（ | ） |
| 12. 誰もいない | 13. 頼みたくない |

問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特にな | ） |

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特にな | ） |

問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

1. 現在、在宅で療養している
2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である
3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である
4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない
5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない
6. その他（)

問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思えますか。（○は1つだけ）

1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している
2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない
3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている
4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある
5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない
6. すべて家族にまかせるので必要ない
7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない
8. その他（)

問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）

1. 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組
2. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組
3. 民生委員児童委員による見守りの取組
4. ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認
5. 定期的な電話や傾聴等の話し相手
6. 会食会、コミュニティ・カフェ、サロンなどを催し、地域交流を深める取組
7. 地域包括支援センター等による生活実態の把握
8. 弁当の配食時に安否確認する取組
9. 児童の登下校時の見守りの取組
10. 身近な地域で開催される運動や体操などの取組
11. その他（)
12. 特にない
13. わからない

問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない ⇒問30へ

問 29-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
2. あんしんセンター（成年後見支援センター）
3. 地域包括支援センター
4. 障害者相談支援センター
5. その他（ ）

【地域活動やボランティア活動についておたずねします】

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ（運動会などを含む）に関する活動
13. 自分のスキル（能力や技能）を活かした活動
14. オンラインでの活動
15. その他（ ）
16. 今は参加していないが条件が整えば参加したい ⇒問30-2から問30-5へ
17. 参加したことがない ⇒問30-6へ

「1」～「15」に○をつけた方は、問30-1へ進む

問 30-1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人の役に立ちたいから
2. 自分たちのために必要な活動だから
3. 家族・友人・知人から誘われたから
4. 学校の授業などで機会があったから
5. 困っている人や団体から頼まれたから
6. 余暇を有効に活用したいから
7. 趣味や特技を活かしたいから
8. 楽しそうだから
9. つきあいのため、やむを得ず
10. その他 ()
11. なんとなく

問 30-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化(ごみ拾いなどを含む)に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動
13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動
14. オンラインでも参加可能な活動
15. その他 ()
16. 具体的にはわからない

問 30-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問 30-4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1~2回 | 3. 月2~3回 |
| 4. 月1回 | 5. 月1回未満 | |

問 30-5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平日日中（10~17時）2時間以内 | 2. 平日日中（10~17時）4時間以内 |
| 3. 平日日中（10~17時）6時間以内 | 4. 平日夜間（17~20時） |
| 5. 休日日中（10~17時）2時間以内 | 6. 休日日中（10~17時）4時間以内 |
| 7. 休日日中（10~17時）6時間以内 | 8. 休日夜間（17~20時） |

問 30-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない |
| 2. きっかけがつかめない |
| 3. 身近に活動グループや仲間がない（知らない） |
| 4. 健康に自信がない |
| 5. 家族や職場の理解が得られない |
| 6. 興味を持てる活動がない |
| 7. 育児や介護を必要とする家族がいる |
| 8. 一度は始めると拘束されてしまう |
| 9. 行政や事業者が行えばよい |
| 10. 人と接するのが苦手 |
| 11. 地域活動やボランティア活動はしたくない |
| 12. その他（) |
| 13. 特に理由はない |

問 30-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 活動する時間ができれば |
| 2. オンライン等を活用した活動であれば |
| 3. きっかけがあれば |
| 4. 身近に活動グループや仲間がいれば |
| 5. 体力や健康に自信があれば |
| 6. 家族や職場の理解が得られれば |
| 7. 興味を持てる活動があれば |
| 8. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば |
| 9. その他（) |
| 10. 地域活動やボランティア活動はしたくない |

【保健・福祉に関することについておたずねします】

問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

	1 知っている	2 知らない
ア. 社会福祉協議会	1	2
イ. 民生委員児童委員	1	2
ウ. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）	1	2
エ. 地域包括支援センター	1	2
オ. あんしんセンター（成年後見支援センター）	1	2
カ. 老人クラブ	1	2
キ. いきいきセンター（老人福祉センター）	1	2
ク. いこいの家（老人いこいの家）	1	2
ケ. 障害者相談支援センター	1	2
コ. 地域療育センター	1	2
サ. 地域リハビリテーションセンター	1	2
シ. 聴覚障害者情報文化センター	1	2
ス. 視覚障害者情報文化センター	1	2
セ. 児童相談所	1	2
ソ. 地域子育て支援センター	1	2
タ. こども文化センター	1	2
チ. 福祉パル（区社会福祉協議会）	1	2
ツ. 総合福祉センター（エポックなかはら）	1	2

【防災に対する意識と備えについておたずねします】

問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 携帯トイレ（簡易トイレ）を備えておくこと
3. 停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）
4. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
7. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
8. 警戒レベル（5段階）などの防災情報の意味を知っておくこと
9. その他（）
10. 特にない

問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと
2. 避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと
3. 住民同士で家族構成・要介護度などについてある程度知っておくこと
4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
6. 地域の避難所を知っておくこと
7. 地域で主体的に防災につながる活動を行うこと
8. 防災訓練に参加すること
9. ボランティア活動への参加
10. わからない
11. その他（）

問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 川崎市地域防災計画 | 2. 各区地域防災計画 |
| 3. 地区ごとに作成している防災計画 | 4. 災害時要援護者避難制度 |
| 5. 川崎市防災マップ | 6. 土砂災害ハザードマップ |
| 7. 福祉避難所 | 8. 防災啓発冊子「備える。かわさき」 |
| 9. 川崎市防災ポータルサイト | 10. 自主防災組織 |
| 11. マイタイムライン | 12. 川崎市災害ボランティアセンター |
| 13. すべて知らない | |

【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること
2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと
3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること
4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること
5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと
6. その他（ ）
7. 特に取り組むべきことはない

問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成
4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供
7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化
8. その他（ ）

問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座
2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座
3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座
4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座
5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座
6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座
7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座
8. 先進的な取り組み事例が学べる講座
9. その他（ ）
10. 特にない

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく方法

問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

※「地域包括ケアシステム」とは…

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、福祉・生活支援が切れ目なく、一体的に提供される仕組と地域づくりの取組のことです。この取組を進めるには、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体でそれぞれが適切な役割分担により、取り組むことが大切です。

1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している⇒問45へ
2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない⇒問45へ
3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない
4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない
5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない

問 44-1 地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。（○は1つだけ）

1. 定期的に行っている（具体的に： _____）
2. たまに行っている（具体的に： _____）
3. 行っていないが、機会があれば行いたい
4. 行っていないし、関心もない

問 45 「地域包括ケアシステム」の取組等について、御意見があればお書きください。

問 46 最後に、『川崎市地域福祉計画』または『区地域福祉計画』に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

第6回川崎市地域福祉実態調査 結果概要（宮前区版）

令和5年3月発行

発行 川崎市

編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-2626（直通） FAX 044-200-3926

E-mail 40keasui@city.kawasaki.jp
